

14.5

14. 5-672



1200501218169



始



北日本

定期航路案内

14.5

672



昭和二年版

北日本汽船株式會社

明治二十六年創業

火災保險
海上保險

傷害保險
自動車保險
運送保險

本店 大阪市北區堂島濱通二丁目

大阪海上火災保險株式會社

支店出張所
代理店
歐洲總代理店
小樽駐在員事務所

東京、神戸、横濱、名古屋、福岡、京城、仙臺、金澤、京都
内國外國樞要ノ地ニ二千八百餘店
セドウイック・コリンズ商會(ロンドン市)
小樽市南濱町四丁目北日本汽船會社内(電三〇五〇番)

營業科目

各種船舶建造並修理
陸船用汽機汽罐設計・製作並修理
鐵骨・橋梁・鐵塔・タンク・一般鐵工工事



株式會社
名村造船所

社長 名村源之助

本社

大阪市住吉區北加賀屋町
電話櫻川三三三・一六一三・一八九二住吉三五三番

出張所

神戸市神戶區明石町明海ビル内
電話三宮一九二九・三九五八番

代理店

小樽市色内町五丁目合資會社松谷商店

引揚船渠		乾船渠	
全長	幅	全長	渠口幅
三〇〇呎	三〇呎	三四〇呎	四六呎
	最大重量		一四呎
	六〇〇噸		深

名村汽船合資會社

營業所 大阪市住吉區北加賀屋町
電話櫻川313-1613-1892住吉3553

所有船 大源丸 第三大源丸 第五大源丸 第六大源丸



修理船は三菱彦島船渠

工事の優秀・工費の底廉

入渠し得る船舶の最大寸法

	全 長	外 幅	吃 水
第一船渠	390'-0"	56'-0"	18'-0"
第二船渠	450'-0"	70'-0"	18'-0"
第三船渠	255'-6"	29'-0"	14'-0"

三菱重工業株式會社

彦 島 造 船 所

下 關 市 彦 島



木津川船渠株式會社

社 長 南 俊 一

專務取締役 福 本 麻 次 郎

本社及工場 大阪市浪速區木津川町三丁目筋

神戸出張所 電話 櫻川園一〇九〇・二二四五・四〇九〇

神戸市神戸區海岸通二丁目九番地 電話 三宮三三六八・三三六九

目科業營

各種船舶新造、修理並船渠業
 陸用船用汽機汽罐新造及修理
 橋梁、鐵塔、其他建築材料製作及諸鐵工業

入渠總噸數	排水時間	盤木上深	渠口幅	渠底全長	第一號	第二號
					二七四尺	一六四尺
一、六〇〇噸	三間時	一四尺	四〇尺	二七四尺	二七四尺	一六四尺
五〇〇噸	一時間半	一二尺	三〇尺	一六四尺	一六四尺	一六四尺

中

營 業 種 目
 勞 力 請 負
 運 送 船 内 仲 仕
 陸 仲 仕 所
 營 業 種 目

小樽市富岡町二丁目五番地

營業主 **谷口誠一**
 電話 二九三九番

小樽市色内町三丁目九番地

中谷口仲仕部
 電話 四六二番

小樽市南濱町四丁目十二番地

中谷口解部
 電話 一〇四番
 一六四四番
 三一四二番

小樽市南濱町四丁目十二番地

北日本汽船株式會社
專屬中解部
 電話 二八六九番

繩 蔴 問 多少にかゝわらず
 空 物 類 御 用 命 を 云 ふ
 古 銅 鐵 屋

田澤兄弟商會
 小樽市砂留町四十二番地
 電話 呼一四四番

北日本汽船株式會社御用達

タイムル衛生陶器 各社特約店
 セメント白セメント
 小樽市花園町

惣吉川豊吉商店
 北海道關係ノ書籍雜誌御用命へ……
 小樽市花園町東二ノ一

丸文書店
 小樽市花園町東二ノ一

神坂洋服店
 小樽市花園町第二大道
 電話 二八七番

ウエスト製造販賣

誠實勉強多少に不拘
 御用命を乞ふ

奥山吉藏商店
 小樽市砂留町六十八番地
 電話(呼)一四四番

各國羅紗
 附 屬 品
 取 扱

中達洋服店

小樽市稻穂町東四ノ一三
 電話 一二三七番

日本タイプライター株式會社代理店
 邦文タイピスト養成所小樽支部
 高級文房具店

越玉柳商店

北日本汽船會社御用達
 小樽市東雲町八番地
 電話 一一五五番
 振替小樽 一一五五番

各種靴調製販賣

分 井靴店

小樽市稲穂町東七ノ二五
電話一四六三番
振替水揚

電話 四九九番の

小樽 タクシー

小樽市中央通り

流線型!!

アサノタクシー

電話 五三七番
小樽市松竹座前

汽車、汽船、連絡
市内貨物運搬
貨物自動車

吉田運搬部

吉田秀次

小樽市富岡町三丁目三〇番地
電話(北日本倉庫)一三〇二番
電話(自宅(呼))三〇二二番

北日本汽船會社專屬

北日本汽船株式會社取扱店

小樽市色内町六丁目壹番地

小栗海運株式會社

小樽支店

本社 神戸市神戶區海岸通り二丁目
支店 門司市東本町二丁目
出張所 大阪市西區北堀江通り六丁目
同 東京市日本橋區吳服橋壹丁目

小樽驛前

アベ自動車

電話 一二三〇番

爽快なるドライブは

優秀なるハイヤーで

電話 五九九番の

ニシタ自動車

西田忠次郎

小樽市手宮町三丁目十三番地



株式會社

北海道運送社

營業所所在地

手宮驛前 小樽驛前
南小樽驛前 濱小樽岸壁
小樽築港驛前 旭川驛前
新旭川驛前 近文驛前
留萌驛前 西留萌岸壁

小樽局私書函第二十六號
電話代表番號三七八〇番
振替口座小樽一四一〇〇番
發電零號(テミヤ〇ツ)又ハ(テ〇ツ)

北日本汽船株式會社荷扱店

小樽市南濱町四ノ八

株式會社 鹽田回漕店

社長 鹽田安藏

回漕部

電話 一〇六番
三三〇番

保險部

電話 四〇五番

船舶部

電話 六七八番

倉庫部

電話 二一五七番

北日本汽船株式會社 御用達
近海郵船株式會社

各船舶食糧品雜貨賣込商

吉柴田商店

小樽市色内町五丁目十九番地
電話(一〇三五番) 電零(シ)
支店 東京市芝浦日之出町六番地
電話 三田(45)一九四五番

大藏省指定臺灣糖消費稅未納糖移入指定倉庫
農林省指定政府米保管倉庫
日本銀行指定倉庫
函館地方專賣局指定倉庫

小樽倉庫株式會社

小樽市南濱町三丁目三番地

電話

事務所 一五〇番
新倉庫 二六三番
岸壁第一號倉庫 一六六番
第四附屬倉庫 一五三番
第六附屬倉庫 一四二番

株式會社荷扱店

電話 一〇六番 三三〇番	保 險 部 電話 四〇五番	船 舶 部 電話 六七八番	倉 庫 部 電話 二一五七番
-----------------	------------------	------------------	-------------------

吉柴田商店

小樽市色内町五丁目十九番地
電話(一〇三五番) 電零(シ)

支店 東京市芝浦日之出町六番地
電話 三田(45)一九四五番

B

大藏省指定臺灣糖消費稅未納糖移入指定倉庫
農林省指定政府米保管倉庫
日本銀行指定倉庫
函館地方專賣局指定倉庫



小樽倉庫株式會社

小樽市南濱町三丁目三番地

電話

事務所	一五〇番
新第一倉庫	二六〇番
岸第一倉庫	一六六番
第四附屬倉庫	一五三番
第六附屬倉庫	一四二番

九

B

★ サツポロビール

A

良いお酒 北の譽

釀造元

小樽 野口商店

札幌 西尾商店

旭川 岡田商店

御時計と御修繕の御下命は

小樽市色内町六丁目四拾番地
 合名 会社
工藤時計店
 電話 七〇二番
 創業明治二十三年

小 御旅館

いづみ屋
 電話四二一八九番

ユアサランテ 乾電池

小樽市花園町
 北海道樽太
 發賣元 **愈吉川豊吉商店**
 電話一六六七番



小樽市稲穂町中央通
錨屋旅館
 電話 三〇九八番

全國各新聞廣告取扱
 全道浴場廣告取扱
 樺太日日新聞小樽支局

小樽市眞榮町中學校通り

北海道廣告社

電話 三四六二番
 振替口座小樽七七八七〇番

小樽市花園町大通

荒井時計店

電話 三三〇四番

今夏小樽市開催

北海道大博覽會

特設 館
 出品 裝飾
 廣告 塔
 ネオンサイン

設計製作請負

小樽市色内町六ノ四六

資合 會社 **廣告研究社**

TEL 1317

東邦炭礦株式會社彌生石炭
 茅沼炭礦株式會社玉川石炭

特約

小樽市錦町十一番地

船舶焚料
 工場用
 家庭用

石炭業



株式會社

吉田商店

電話一園 八七四〇八番
 海岸事務所 八六八番

神戸 出 張所 電話三宮九九六番

青森市安方町一九五

青 森 出 張所 電話二一八四番

北海道岩内町御鉢内町

岩 内 出 張所 電話五五六番

北日本 昭和十二年度版

廣告目次

Table listing various companies and organizations in the Hokkaido region, including shipping companies, hotels, and local businesses, with corresponding page numbers.

Table listing various companies and organizations in the Hokkaido region, including shipping companies, hotels, and local businesses, with corresponding page numbers.

Table listing various companies and organizations in the Hokkaido region, including shipping companies, hotels, and local businesses, with corresponding page numbers.

Table listing various companies and organizations in the Hokkaido region, including shipping companies, hotels, and local businesses, with corresponding page numbers.



- 〔城津〕 須川洋行製材所、丸中旅館、5を新
- 〔城津・蒲潮・羅津・三陟〕 藤澤商舖出張所、北鮮商船組、蒲潮商船組、梅田嘉十郎、淺野組三陟營業所
- 〔羅津・清津〕 羅津ホテル、山陽館、浪花旅館、ミカド會館、昌平館
- 北日本汽船清津在勤員
- 〔清津〕 水月、鶴林館、都、清進館
- 滿鐵北鮮鐵道事務所
- 福島商店、東亞物産商會、共信商會
- 國際運輸會社支店
- 清津青果市場會社、秋田水産工業會社
- 宮本商店會社、清津魚糧工業會社
- 三久商會、國際ホテル
- 〔清津・朱乙〕 櫻屋旅館、明治屋、小倉館、萬翠、愛媛館
- 〔小樽〕 三井生命保險株式會社支店
- 今井吳服店
- 小樽精肉會社、柴田クイニンク工場
- 加藤商店
- 太田醫院、矢野病院
- 愛生病院、三谷病院
- 岩城病院、織田療院、小樽肛門療院
- 北海道拓殖銀行支店、安田銀行支店
- 第一銀行支店、三井銀行支店
- 日米礦油會社支店
- 住友炭礦會社支店
- 〔大阪〕 田中源太郎商店
- 大阪鐵工所
- 〔東京〕 凸版印刷會社
- 浦賀船渠會社

- 〔小樽〕 三菱銀行支店
- 三菱鐵業會社支店
- 〔小樽〕 小樽市役所(北海道大博覽會)
- 〔大阪〕 大阪海上火災保險會社
- 〔小樽〕 北海道炭礦汽船會社支店
- 〔小樽〕 樺太運輸會社
- 〔小樽〕 明道香風園、吉川豊吉商店、北村船具店、小樽倉庫會社作業部、伊藤平商店
- 多來加灣沿岸地方地圖裏
- 木下寫眞館、本間寫眞館、マツヤ商會、松尾鐵工所
- 樺太東南岸地方地圖裏
- 池田市造商店
- 長谷川齒科醫院、淺島整骨診療院、長尾印房、藤本食料品店、明治眼科病院
- 〔東京〕 日本海汽船會社
- 中村商會
- 〔興南〕 富田商會支店
- 〔大阪〕 大阪商運會社
- 〔小樽〕 太陽會印刷所、柳原玉光堂、高井家具店、寺井商店
- 中國及四國地方地圖裏
- 〔雄基〕 島本商會
- 〔朱乙〕 千歲館
- 日滿連絡地地圖裏
- 〔元山・朱乙〕 朝鮮郵船會社支店、朝鮮運送會社支店、小杉商店支店
- 麒麟麥酒會社支店、吉川陶器店、水晶堂眼鏡店
- 最新朝鮮地方地圖裏
- 〔清津・朱乙〕 佐藤商店、風月堂、辰巳屋旅館、浦木百貨店
- 歐洲交通地地圖裏
- 〔小樽〕 鹽野基水堂、稻川喜信堂、寺西百貨店
- 最新滿洲地地圖裏
- 國際通運會社支店、赤尾無線電機商會
- 定期航路圖裏
- 〔尼崎〕 大東産科會社
- 阿寒、屈斜路、摩周案内圖裏
- 〔東京〕 仁壽生命保險會社
- 大雪山登山略圖裏

烹 割

代 ぐ い

目下四西條三南市幌札
番九三三・二話電

庭球・野球・スキー外各種

コンドウ運動具店

小樽市花園町東二ノ十二
電話 二七一三番

小樽市銀座街

湯上蓄音器店

支店 電話二三六一番
札幌市拓銀街 電話四八一九番

本社 神戸市東區濱邊通り四丁目五ノ一

小樽市界町二番地(濱小樽驛前)

カミクミ 上組合資

電話 一八七番
振番水樽一八二九番

小樽市稻穂町西七丁目四番地(小樽驛前)

カミクミ 上組合資

電話 二四九六番

陸送部 交計加盟店



營業種目

鐵道省指定運送取扱店
 鐵道省稚泊連絡貨物作業請負
 北日本汽船稚斗連絡一般作業請負
 一般海上作業請負
 市内諸運搬並勞力請負
 樺太利尻禮文島連絡貨物取扱

株式 稚内運送社

社長 葛井與三吉

電話 四五〇番 電話(〇ツ)又ハ(ツ) 電話小樽一〇六七六番

北海道稚内町稚内港驛前

國際通運株式會社代理店
 神戸海上運送火災保險會社代理店
 北日本汽船株式會社荷扱店
 嶋谷汽船株式會社代理店

稚内驛前出張所 電話 一四七番
 船入澗岐線出張所 電話 二三五番
 船作業部 電話 一三六番
 船回貨物部 電話 一三六番
 自動車部 電話 四四番

海軍省 鐵道省
 北日本汽船 指定商

果實、蔬菜 委託問屋商
 清酒、乾物 食料品百貨
 市 相澤誠作商店

北海道稚内港北濱通三丁目
 電話 二九六番
 振替水欄 六七〇六番
 私書 函 第八號

鐵道省 北日本
 御指定

明日屋 佐藤洗濯店

北海道稚内町南濱通二丁目
 電話 百三十四番

野田醬油會社 特約店
 大日本麥酒株式會社
 官鹽元賣捌所
 米穀、砂糖 食料品 倉庫業

与桑原支店

北海道稚内港北濱通
 電話 一〇六番
 振替水欄 一一一三番

鐵道省 第七師團
 北日本汽船 指定旅館

木谷旅館

北海道稚内港波止場通
 電話 三三番
 振替水欄 一一二二六番

札幌鐵道局 札幌鐵道郵便局
 北海七道旅行協會
 指定旅館

幸 本店松尾旅館

北海道稚内港驛前
 電話 一二二番

鐵道省 通信局
 北海省 通信局
 大湊要港部 王子製紙會社
 北日本汽船會社 日本石油會社
 第七師團 橫須賀鎮守府
 日本石油會社 指定旅館

カカンノホテル

北海道稚内港棧橋通
 電話 二七一番

鐵道省
北海道
日本汽船
一般船舶
食料品指定商

精肉問屋
肉鍋専門
七關 商店

北海道稚内港波止場通
電話 一六三番

北日本汽船株式會社

三 稚内出張所

主任 夏目晴次
北海道稚内港北濱通四丁目
電話 二四四番

北日本汽船株式會社武意泊代理店

久 中村回漕店

電話(ナカ)又(ハ)又(チ)

吳服、洋物、雜貨

目 柳原商店

棉太本斗郡好仁村南名好大通り

米穀、馬糧、雜貨、金物、器具

石 井商店

棉太本斗郡好仁村南名好大通り
電話(イシ)又(ハ)又(チ)

米穀、馬糧、雜貨

福 内田商店

棉太本斗郡好仁村南名好大通り九一

第七師團指定旅館

希 望館

棉太本斗郡好仁村南名好大通り

米穀、荒物、雜貨

久 中村商店

棉太本斗郡好仁村武意泊港
電話(ナカ)又(ハ)又(チ)
振替棉太八五四番

割烹 華榮樂家

北海道稚内港
電話 一七二五番

米穀、雜貨、商貨

内 阿部商店

棉太本斗郡好仁村武意泊港
電話(ア)又(ハ)又(チ)

内幌運輸株式會社

棉太本斗郡内幌港
電話 七十四番

保證責任
好仁村漁業協同組合

組合長理事 辻森駒吉

冬 庄内利兵衛商店

棉太本斗郡好仁村武意泊港 五九番地
電話(シヨ)又(ハ)又(チ)
振替棉太六四八番

米穀、馬糧、雜穀、醬油、味噌、油類、酒類、陶器、荒物、金物、海産物、卸賣、小賣

棉太本斗郡海馬島
KSC 海馬島水産株式會社
回漕部

北日本汽船株式會社
大阪海上保險株式會社
日本海上保險株式會社
代理店

太 泊居回漕店
棉太泊居港
電話八番團三一九番
(船漕倉庫)二五七番

三 眞岡出張所

主任 北村猪太郎
棉太眞岡町本町一丁目
電話 一 二 番

棉太本斗町中通り五丁目三番地

御旅館
越中屋

電話 二〇九番

カフェー

キクヤ

樺太本斗町
電話四四番

本斗港

北川旅館

電話七四〇番

樺太本斗港

カフェー
加洲

電話二八番

創業樺太占領翠年
真岡唯一のデパート

米津百貨店

樺太真岡町本町二丁目
電話 密 二一六番
振替小樽一六九四八番
振替樺太一四五八番
仕入部 (東京市中野)

樺太真岡町北真岡驛前

應鐵指定

合資
會社



北真岡運送店

電話七一二番
振替口座樺太六二〇番

銅鐵金物機械工具
七メント・ペイント・スレート
各種ロープ・度量衡器

樺太真岡本町二丁目

正藤森金物店

電話 (一) 一六〇三番
電話 (フ) 又ハ (フジ)
振替口座樺太七五〇番
附屬鐵工場



ライジングサン石油株式会社 樺太代理店
 ダイヤモンド 礦油 發賣元
 キリンビール株式会社 樺太代理店
 大日本人造肥料株式会社 樺太代理店

米 礦油 雜貨
 鹽 穀 問屋



大橋徳太郎本店

電話 園四五番 六七番
 振替口座 樺太七二四番
 支店 小樽市 稻穂町 東五ノ五

樺太真岡本町二丁目

鋼鐵諸機械附屬品
 船具、漁網、塗料
 度量衡器、計量器 販賣

關西製網株式會社特約販賣店
 關西ペイント株式會社特約販賣店

合資 山本商店

樺太真岡北濱町六丁目十番地
 電話 三五八番
 電 零 (マタコ) 又ハ (ヤ)

日本鉛筆製造株式會社特約店

書籍、雜誌、文具
 事務用品、樂器類
 地圖、掛圖類、手工用品



弘文堂商店

樺太真岡本町五丁目
 電話 六四五番
 振替口座 樺太四三三番

東京日日新聞真岡專賣所
 大阪毎日新聞真岡專賣所

米穀海產鶏卵雜貨問屋



株式會社 樺太商會

樺太真岡町南濱町一丁目
 電話 園一七四四番
 電話 零「カ」ラ 園四四四番
 振替口座 樺太一四六六番
 本支店營業所所在地 小樽・大泊・豊原
 惠須取・敷香

陸海軍・樺太廳
 鐵道・クーボン 御指定

百足屋旅館

樺太真岡町榮町一丁目一番地
 電話 ※ 園六六二〇番
 電話 園五一九番
 振替口座 樺太一三四〇番

……光 春……



北日本

S.S. HOKUYO MARU
OTARU

昭和二十年版

二九

發行所 贈本

北日本汽船株式會社

小樽專屬荷扱店

株式會社

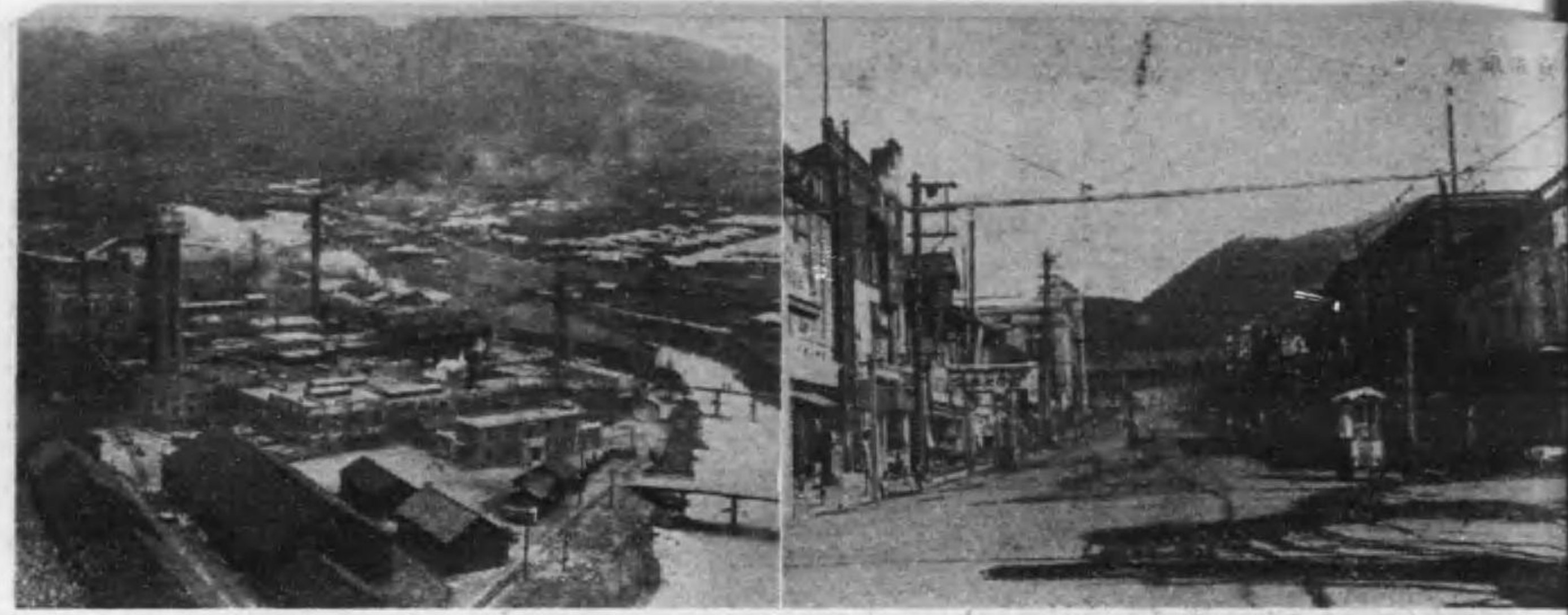
北 二 組

海陸船車連絡貨物取扱

小樽市南濱町四丁目二番地
電話 一三三〇七・四五六
振替口座小樽一〇四番
小樽市堺町市營岸壁
濱小樽事務所
電話六〇九・一九一〇番

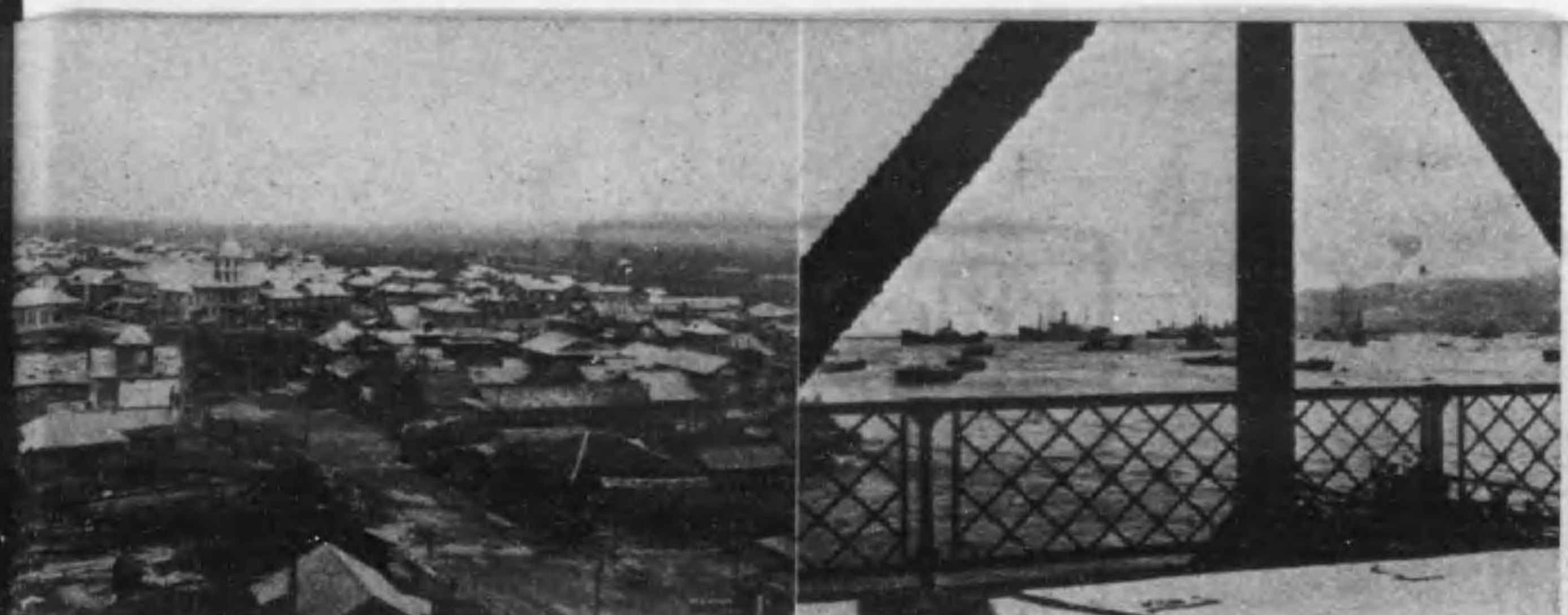
二八

A



泊居王子製紙工場

眞岡市街



惠須取港

小樽港の一部

樺太西岸航路

内地から樺太へ、樺太から内地への経路は種々ありますが、内地及北海道より樺太西海岸及奥地への最短、最捷路は第一に弊社の「稚内本斗連絡線」と「小樽惠須取線」とを挙げ、次に「函館安別線」を挙げなければなりません。此の各航路の利用は夫々其の特徴があつて各所要時間の點より見ても亦其の経費の點を比較しても他の何れの経路よりも最も早く且つ低廉であります。樺太西海岸北海道間御旅行の節は伸々と樂に起居しながら、エキゾチックな沿線の風光を賞観出来る右三航路船を御利用賜らん事をお願ひ致します。



小樽 惠須取線

本航路は北海道交通の要衝小樽港より樺太西海岸鐵道の主要地、眞岡、野田、泊居を経て、惠須取に至る急行便であります。毎月一、七、一三、一九、二五小樽港を定期出帆し、眞岡に於て樺太鐵道と連結し、又反對に三、九、一五、二一、二七日惠須取港を出帆し、泊居、眞岡を経て、小樽に於て省線と連結する船車連帶線でありますから樺太鐵道各驛と北海道、内地主要驛相互間は一枚の切符で目的地迄行かれ非常に便利であります。東海岸「小樽、知取、敷香急行便」に相對し東西交通の主要幹線で、又樺太艦の命令航路であります。

就航船「新高丸」

噸數 三、七〇〇噸 速力 一三哩
旅客定員 一等四人 二等一六人 三等一六七人

小樽 惠須取線 定期表

行先	發着時	至	自
小樽	後二時發	一日	七日
眞岡	正午發	二日	八日
野田	後八時發	三日	九日
泊居	後九時發	四日	十日
惠須取	後一時發	五日	十一日
小樽	後二時發	六日	十二日
眞岡	正午發	七日	十三日
野田	後八時發	八日	十四日
泊居	後九時發	九日	十五日
惠須取	後一時發	十日	十六日
小樽	後二時發	十一日	十七日
眞岡	正午發	十二日	十八日
野田	後八時發	十三日	十九日
泊居	後九時發	十四日	二十日
惠須取	後一時發	十五日	二十一日
小樽	後二時發	十六日	二十二日
眞岡	正午發	十七日	二十三日
野田	後八時發	十八日	二十四日
泊居	後九時發	十九日	二十五日
惠須取	後一時發	二十日	二十六日
小樽	後二時發	二十一日	二十七日
眞岡	正午發	二十二日	二十八日
野田	後八時發	二十三日	二十九日
泊居	後九時發	二十四日	三十日
惠須取	後一時發	二十五日	三十一日

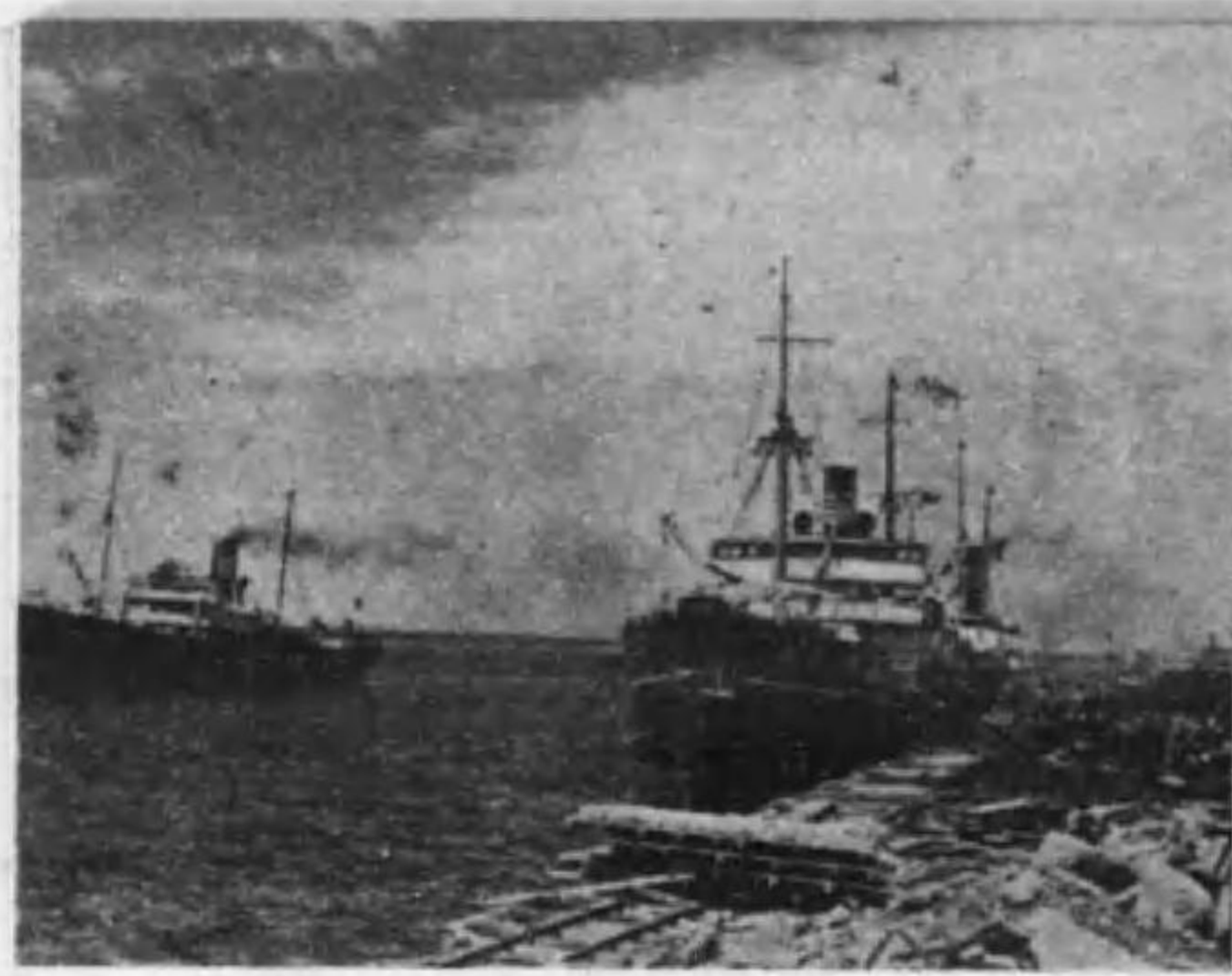
荷客の都合に依り往航診内へ、復航鶴城へ臨時寄港致します。

小樽 惠須取線 夏季船客運賃表

航路	小樽	眞岡	野田	泊居	診内	惠須取
一等	七、〇〇	八、〇〇	九、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇
二等	三、五〇	四、〇〇	四、五〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
三等	二、〇〇	二、五〇	三、〇〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇

小樽 惠須取線 冬季船客運賃表

航路	小樽	眞岡	野田	泊居	診内	惠須取
一等	八、〇〇	九、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇
二等	四、〇〇	四、五〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
三等	二、五〇	三、〇〇	三、五〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇



港斗本



街市内稚



峡龍白



島馬海

伏木函館安別線

本航路は北海道の咽喉函館港を起點とし小樽を経て樺太西海岸各港に寄港し遠く日蘇國境安別に至る樺太廳命令航路で沿岸各港相互間と北海道の要衝小樽、函館間の連絡を計る普及便で復航は伏木迄延長してゐます。樺太西海岸端浦各地に取りては缺くべからざる重要線にて急行便其の他の航路に交て定期運航して居ります。
寄港地……函館、小樽、海馬島、内幌、本斗、眞岡、蘭泊、野田、泊居、久春内、珍内、鶴城、惠須取、名好、安別
(月三航海)

函館安別線船客運賃表

(甲二等は三等の二倍額、乙二等は三等の五割増)

船名	等級	函館	小樽	海馬島	武意泊	内幌	武意泊	内幌	野田	泊居	久春内	珍内	鶴城	惠須取	名好	安別
溫州丸	一等	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇	八.〇〇
	二等	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇	四.〇〇
愛徳丸	一等	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇	七.〇〇
	二等	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇	三.〇〇

就航船

就航船は前記の如く兩航路共優秀船備で、客室は總て船客本位に寒暑に適するやう夫々通風、採光、納糧、暖房装置等客船としての施設完備し、特に三等室は廣く明るく設計してあります。殊に「小樽惠須取線」の新高丸は樺太西海岸就航船中の白眉で、又北海の「つばめ」と云はれる超スピード船で娛樂施設等も充分ありますから聊かも加託することなく愉快な航海が續けられます。是非一度御試乗の上忌憚なき御高評を賜はらんことをお願ひ申上ます。

稚内本斗連絡線

北海道より樺太へ、樺太より北海道への最短経路は鐵道省の「稚内—大泊連絡線」と北日本汽船の「稚内—本斗連絡線」の二つの航路がありますが、北海道より樺太西海岸及奥地へ、逆に同地方より北海道への最短経路は樺太廳命令航路「稚内—本斗連絡線」の利用コースであります。前述の如く樺太廳の命令航路であるばかりでなく、鐵道省及び樺太廳鐵道等と協定した船車連帶運輸機關でありますから一枚の切符で何等の煩もなく手軽に目的地に行かれ非常に便利であります。北海道—樺太間の御旅行は最捷路であり最便利であり最低廉である弊社經營「稚内—本斗連絡線」を御利用賜はらんことを御願ひ致します。

本航路は北海道の北端稚内港と樺太廳鐵道の最南端不凍港本斗とを連絡する樺太廳命令航路で稚内—本斗間は僅か七時間の航程であります。北海道、樺太連絡最捷路で、且つ、秀麗「利尻富士」や、夢の浮島の様な「海馬島」又は能登呂半島「白主」を始めエキゾチックな沿線の風致を賞観出来る興味深い航路であります。北海道又は樺太周遊に良く調査された賢明な御旅行者は往路か復路か何れかの内、片途は本航路を御利用なさるやうです。之れは本航路沿線の風致を賞美する許りでなく、日數及び經費の點から言つても得策であるからであります。

就航船

就航船「樺太丸」は今春より鈴谷丸と交代した優秀船で耐水装置を有し又客船としての施設も完備し乗組員殊にボーイは心からのサービス致しますから聊かも加託することなく愉快な航海が續けられます。

定期發着日時

定期發着日時は左表の通りで、又汽船出帆廣告は北海道、樺太各主要新聞へ掲載してあります。内地各旅行案内へは詳細に掲載してありますから「北日本汽船株式會社」の項を御覽下さい。

【乗船】稚内は鐵道省線同様當分靜乗降であります。本斗は棧橋に横付でありますから埠頭で島渡一足本船にお乗込になればもろ皆様は寝ながらにして懐しの内地又は憧れの樺太に御着になることが出来ます。尙本船には出帆時間一時間程前に御乗船になる方が御便利で御座います。連帯切符御所持の方は埠頭の出張所又は弊社代理店へ御立寄りの上御檢印を押さして戴きます。

刻時着發斗本内稚

港名	發着	着
稚内	自三月十五日 至十二月十五日	自十二月十六日 至三月十四日
本斗	每日午前 八時二〇分	每日午前 八時二〇分
本斗	每日午後 四時二〇分	每日午後 四時二〇分
本斗	每日午後 四時二〇分	每日午前 九時〇〇分
本斗	每日午後 四時二〇分	每日午後 四時〇〇分
本斗	每日午前 九時〇〇分	每日午後 四時〇〇分

稚内本斗連絡線附近の概況

三四

稚内港

ワツカナイ町名はアイヌ語ワツカナイ(飲水の澤)の音譯であります。宗谷海峡に沿ふ、北海道最北の都會で、人口二萬を有して居ります。樺太との交通の要路で大泊との間に鐵道省經營の連絡船と本斗との間に北日本汽船會社經營の連絡船とがあつて、各々三月下旬から十二月中旬迄は毎日、十二月中旬から三月中旬迄は偶數日に發航して居ります。

「名勝地」 埠頭岸壁、クサンル堅穴群、野寒岬、聲問貝塚 「名物」 蟹罐詰、昆布、ナマコ、帆立貝
「著名店舗」 稚内運送社、相澤食品店、桑原食品店支店、佐藤洗濯店、關精肉店、北日本汽船會社出張所 「料理屋」 榮榮家 「旅館」 木谷旅館、松尾旅館、カンノホテル

宗谷：サウヤ村は稚内驛の東北二五軒、宗谷灣の東岸にある一漁村であります。東北に丘陵を負ひ、西は海に面して港は岩礁左右より突出し波濤を遮るので小船の碇泊に適します。古來宗谷場所の運上屋のあつた所で、また樺太に渡る要津でありましたから頗る重要視せられ砲臺を設け役宅を置きました。安政年間には有珠の善光寺末に屬す護國寺が建設せられ明治五年開拓使當時には宗谷支廳を置いた事があります。(稚内よりバス一時間の地)
「名勝地」 宗谷岬、宗谷護國寺址、福澤牧場

クツチャロ湖：濱頓別(ハマトンベツ)驛を後にすると左にクツチャロ湖が見えます。周圍約四十軒、原始林に包まれて靜寂な境地でピンネシリ山が仰がれます。三、四月頃には鴨や白鳥が来て實に異觀であります。(稚内より一時間半の地)

猿拂の海扇：猿拂、淺茅野、鬼志別各驛から約四軒乃至八軒でオホーツク海猿拂地方の海岸に達します。

この地方一帯帆立貝の特産地として著名で、毎年七月から十月に至る漁期中は海濱の砂上に市街地を形成します。年産額百萬圓に上り本邦第一と云はれます。

ピンネシリ山：敏音知(ピンネシリ)驛から山麓まで約二軒、海拔三、六〇〇米あつて附近一帯森林深く製材が盛であります。(稚内より三時間半の地)

名寄：ナヨロ町は人口一萬六千、名寄驛の分岐驛で、旭川、札幌、小樽方面から北見方面に至る交通の要衝であります。各種産業は勃興し、町勢進展の状況、眞に驚異すべきものがあります。産物は農産と工産か伯仲し米、清酒等が主要であります。

「名勝地」 ビヤシリ山 「旅館」 富士屋ホテル、武蔵屋

美深：ビウカ町は天鹽川の上流地方にある屈指の都邑で、人口一萬二千を有して居りますもと下名寄と云つた所で米、馬鈴薯、製材等を産し、農産、林産共に發展の途上にあります。

天鹽：テンホ町は遠く寶曆年間から内地人の移住した所で、人口八千を有する天鹽平野第一の都會であります。産物は米、麥、馬鈴薯等の農産物が主で、之れに次ぐのは林産物であります。(稚内より三時間の地)

天鹽川：テンホ川は天鹽岳に起り、天鹽平野を北流して日本海に注ぐ北海道第二の大河で、長さ三〇六軒、流域五、八二〇方軒に及んで居ります。沿岸の平野は中流以上が肥沃で、よく開發せられて居ります。が下流地方は概して卑濕で開拓の業は遅々として運びません。

豊富：(トヨトミ)豊富、徳富附近は馬鈴薯の産地として知られて居ります。

「名勝地」 豊富温泉(稚内より二時間の地)

豊富温泉：宗谷本線豊富驛から約五軒で、乗合自動車及馬車の便があります。三方山に囲まれた盆地で、沙流川は半圓形に曲折して流れ靜寂な處であります。春秋の候が一番よいと云はれて居ります。

利尻島

北海道の西海岸に浮ぶ島として有名なものに利尻島があります。この島は島全体が山で海から突然五千七百尺の噴火山が爆發して冷えた島であります。長さ幅共に約十二軒、面積百八十五平方軒で、利尻岳を中心とした美しい端正なスカイラインが北見富士の誇りであり輝であります。その昔、虎狩の加藤清正が朝鮮から富士山と間違へて拜んだと言ふ名山で海洋と山岳の自然美は、豪壯な海を物語り、山を偲ばせます。

山上より脚下一帯に描き出される海岸線は、北に僅か四海里餘の禮文、又雲影のなかに浮び出る樺太があり、東方には天鹽沿岸地帯の丘陵がうねつて雄大な風光美を有し入つては奇岩亂礁に風光の明媚を秘めて、幽玄な北海の山と海の韻律を如實に描き出しています。

島の春は、五月の聲を聞くと共に裾野近くから雪解して、二十日過にエゾヤマザクラをちらほらほこばせます。その時も島の生命の一つであります。鯉漁は既に終り、舟は磯にひきあげられ、舟底を陽にさらされ、キャンシユウは、潮をととのへて歸り船の入るのを待つてゐます。鰯が豊漁な時には小樽からの船は鳥好のする様な雑貨を船底重く沈め、活魚屋さんがジント入で渡つて來ます。しかし島の春は何といつても清澄で閑寂であります。

山鷲が其處此處になきわたり、駒鳥の聲も谷々から屋根々々にひびきわたります。「利尻駒」と云つて利尻は駒鳥の名産地であります。草原に仰向けに寝て、青空の中にすつかり心をゆだねたり、小鳥の聲々に聞き入るのもたのしい裾野歩きの思出であります。

麓野から見た利尻岳は五月下旬から六月上旬が最も美しく、赤銅のすばらしい山巔に數多い銀線の象眼を入れた山膚、鋭い線にきざみこまれた山頂近くの山稜線はどこから見ても飽くことを知りません。更に五月の下旬、くらしい森林をぬけて眞晝千米近くの山稜に立てば、海の香のする明るい陽をうけて無雜作に山へ捧げる心のときめきを知ることが出来ます。晴天の時は五月の末とは云へ、陽ざしは強く胸にしみわたるぬくみと與へ、その時折々谿々にこだまする雪崩の響が唯一つ閑寂を破るのも心快く鳴り渡ります。

まだ北海道が北海道でなかつた頃、松前

禮文島：レイブン島は宗谷海峡西口の南側にある、長さ二二軒、幅五軒餘の細長い島で島内には船泊及香深の二村があります。利尻島と共に著名な漁場であります。(稚内より三時間)

利尻島：リシリジマは野寒岬の西南約三七軒の海上にある直径約九軒の高岡島で島内には鷺泊、杵形、仙法志、鬼脇の四村があります。海岸は鯨、昆布、鱈、蟹、等の魚介多く、本道有数の漁場であります。(稚内より四時間の地)

利尻富士：海拔、一、七〇〇米、秀峰海上に聳立した名山で、樺太への船上(稚内本斗連絡船)で其の山容に對し嘆美の聲を發せぬ旅行者はありませぬ。

利尻島

本斗港 ホントは前述の如く西樺太の玄關で樺太唯一の不凍港であります。人口一萬二千を有し近くに幌内炭田及東洋一の低溫乾燥場を控へ、前には昆布の海、鱈の海があつて氣候よく商況も活潑であります。最近貿易額移輸出二百九十六萬圓、移輸入三百五十四萬圓餘

「名勝地」本斗神社、本斗鱈處理所、本斗公園、阿幸冷温泉、吐鯨保冷温泉、本照寺の古蹟、南濱の櫻花
 「回漕業」本斗海陸運輸會社 「料理家」 カフエー・キクヤ 「旅館」 越中屋旅館、北川旅館、旭館、石井旅館、二葉館、エビスヤ、若松館、本斗館、岩間旅館
 阿幸温泉：オコウ温泉は阿幸驛附近、阿幸川の上流に湧出するのを引湯したもので四季浴客が絶えません。尙附近に



藩は利尻を鯨の漁場として大切に抱へてゐました。その頃、文化四年の夏、島の警備に當つてゐた官船がロシアの軍艦に砲撃され、商船はその積荷を掠奪され「露人來寇」の恐怖におのゝきました。そこで松前藩はその實情を調査の爲官船二隻を仕立て、嚴重警備に派遣したところ、これが忽ち露艦の好餌になつて散々にいためつけられ松前車は命からなげなくも鷺泊に逃げ込んで來ました。これを追つて露艦も鷺泊に上陸し、松前船を燒き拂つて利尻富士に逃げ込んだ警備隊を捜し出し「利尻と禮文兩島は露領ぢやから、お前達が今後手出をする」と本州まで乗取つてやるから左様心得ろ」といふ非禮極まりない一文を與へて颯爽と引き上げていきました。この手紙を松前領主に届け、藩主はこの非常時を江戸に達へました。この急使を受けた幕府は愕然色を失つて即日徹夜で御大老會議を開き會津藩に討伐命令を發しました。家老諸訪幾之進は精兵三百廿名を従へて利尻に乗り込み島は無事取り戻しましたが、野菜的缺乏に備へて水腫患者が續出し約五十名が戦はずして戦死してしまいました。

「この碑が會津磐梯山の石に刻まれて新潟から運ばれ、この鷺泊村にも二つの寺に四基當時のまゝに残されてゐます。」

營業科目

海陸物産製造販賣、米穀、雜貨、石油
 清酒味噌醬油醸造、漁業用品、木材
 製材、土木建築、三徳豆炭製造、保險代理

樺太眞岡町本町貳丁目四番地

株式會社 夕畑木商店

代表取締役 木谷留次郎

本社電話 園七〇番 振替口座 樺太七八八番
 五二七番 受信署號 小樽二一四三番
 本斗町大通リ七丁目電話 園二二〇番
 眞岡郡蘭泊村電話 一〇二番
 支店 眞岡町字井私設電話
 眞岡町石濱町電話 六三番
 眞岡町谷町電話 四一三番
 眞岡本町二丁目濱通電話 五三七番
 製材販賣所 眞岡町電話 六三番
 醸造部 眞岡町電話 四一三番
 船舶部 眞岡本町二丁目濱通電話 五三七番

割烹進明亭

樺太真岡町榮町二丁目
電話 一四七〇一
電話 一四七〇六番

鳥料理 珍鳥

電話 七三〇番

銅鐵金物 工具船具
漁具農具 ベイント類一式

樺太真岡町本町一丁目角

三井金物店

電話 一四三三番
振替口座 樺太一四七七番

樺陸鐵裁商各
太海道判談學
廳軍省所會校
御指定

旅館 スミレ館

樺太真岡町榮町一丁目
電話 一四七〇番
電話 一四七〇番
特長 二八七番

資生堂化粧品代理店
讀賣新聞專賣所
中等學校教科書販賣所
バイロット万年筆特約店
新刊雜誌
内外書籍
文具房
玩物
化粧
切手
類

北文館書肆

樺太真岡町榮町一丁目角
電話 一四三八番
振替口座 樺太一四三九番

樺太真岡町南濱町五丁目十七番地

眞岡運送株式會社

電話 一四二六番
電話 一四二七番
電話 一四二八番
振替口座 樺太四七二番
鮮魚部 電話 一五四番

割烹 高田家

眞岡本店

樺太眞岡港濱町一丁目
電話 二三八番

食 堂

電話 三〇四番

別館

洋 樂 園

樺太眞岡町山手町五丁目
電話 一三一番

專須取支店

樺太專須取港本町一
電話 二〇八番

北日本汽船眞岡出張所

專屬艇部

工 岡 崎 組

岡崎源助

電話 六一七番
四四番

北日本汽船眞岡出張所

專屬仲仕部

五 可知組

船内仲仕
木材仲仕
陸仲仕

可知五一郎

電話 七八番

港内詰所

電話 三五〇番

營業品目
米穀、荒物、雜貨問屋

大日本麥酒株式會社特約店
野田醬油株式會社特約店
明治製糖株式會社特約店
樺太製菓株式會社特約店
日本製粉株式會社特約店
日清製粉株式會社特約店
淺野セメント株式會社西海岸代理店
佐波酒・分萬兩味噌特約店
大阪銘酒・白鶴・櫻正宗・特約店
樺太酒清株式會社製成品發賣元

文吉江商店

樺太真岡本町二丁目九番地
電話 (E.N.H.) 又ハ (E) 三百五十八番
振替口座水橋三四七番
保險代理部
仁壽生命保險株式會社特約店
ゼーホム火災保險株式會社代理店
日本海上火災保險株式會社代理店
帝國海上火災保險株式會社代理店

樺太野田港

野田回漕店

電話 園 三三番
六六番
振替口座樺太六七〇番

定期乗合・貸切・貨物・自動車運輸

泊居・久春内・眞經
泊居・久春内・惠須取 問

樺太中央運輸株式會社

本社 久春内町 電話 一九番
支店 泊居町 電話 二六番
支店 珍内 電話 三五番
冬期間定期 客馬橋
客馬橋

銘露
菊水

釀造元 魚谷兼次郎
樺太泊居町
電話 一三八番

樺太廳、第七師團
諸官衙、指定

泊居ホテル

新館落成

電話 園 二二四番

金山養狐場

優良種狐毛皮

泊居町字元澤

樺太泊居町

榊屋旅館

電話 一三番

北日本汽船株式會社

泊居在勤員

樺太泊居郡泊居港
電話 總 三一九番

株式會社泊居回漕居專屬
一級船運搬業
香取半次郎
泊居町 電話 三二二番

海運 船務 貨物 運送 船務 貨物 運送 船務 貨物 運送
 海運 船務 貨物 運送 船務 貨物 運送 船務 貨物 運送
 海運 船務 貨物 運送 船務 貨物 運送 船務 貨物 運送

北日本汽船株式會社本斗代理店
 三菱礦業株式會社專屬荷扱店

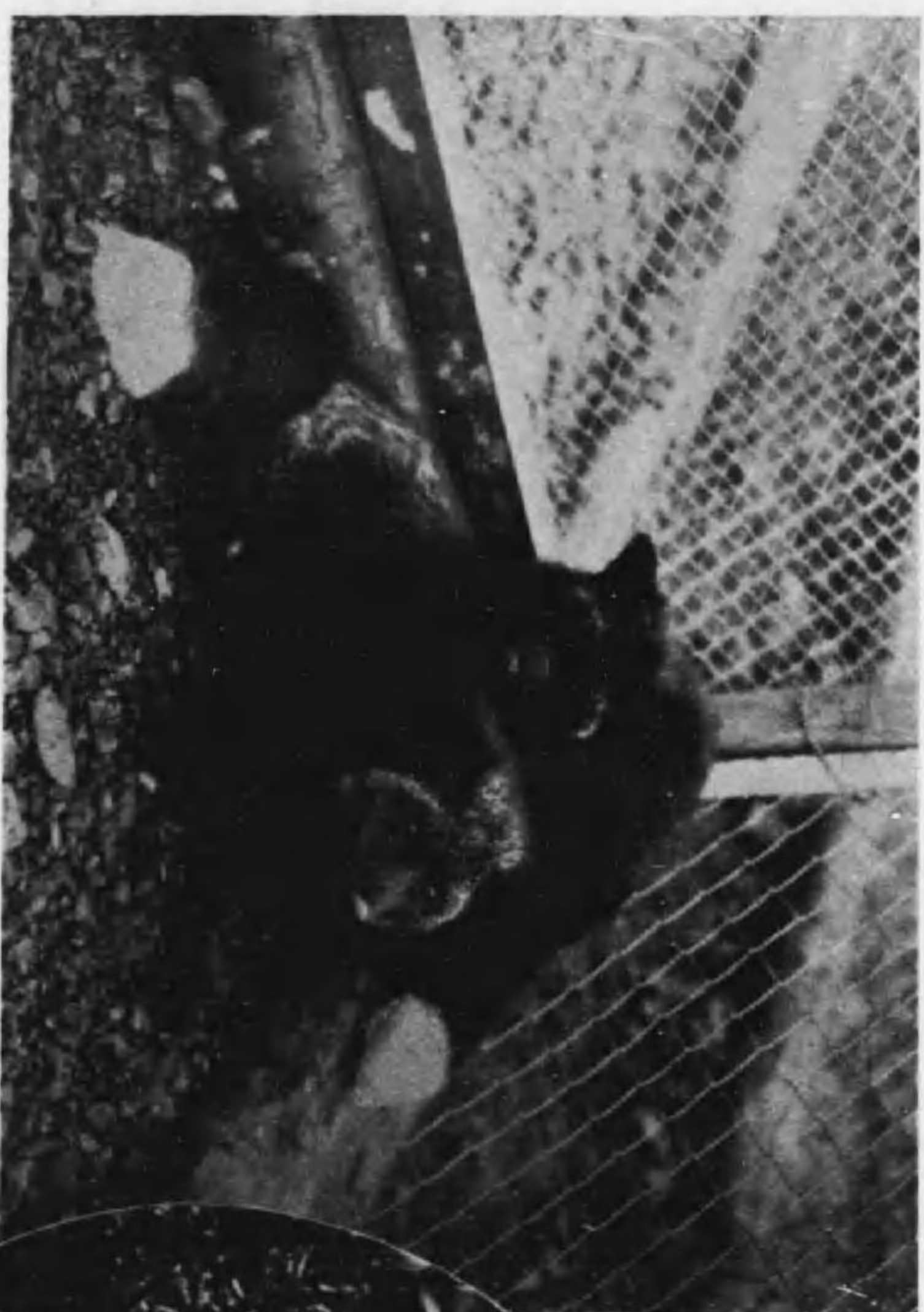
樺太本斗港



本斗海陸運輸株式會社

社長 越川良造

電話 園四四番 一四四番
 四番 二四四番
 六九番 三七番
 振替口座小樽一二九〇八番



狐 黒 銀



物植山高の太樺



歌香市街

知取耶馬溪

樺太東岸航路

小樽知取敷香急行便

本航路は樺太廳命令の下に樺太東海岸主要地に對し、特に奉仕する主旨の基に開設致しました。小樽港樺太東海岸間旅客貨物を急行する便で、西海岸急行便と相對して東西兩部に在つて動搖少なく、陸路旅行と異なり船車乗換及手荷物預換等の煩雜や又車中の如き窮屈さがなく、伸々と樂に起居しながら旅行出來ますので毎航兩地間旅行者で賑つて居ります。

使用船「間宮丸」

總噸數、三三噸 重量噸數、四四噸 速力四浬
船客定員 一等六人 二等二人 三等八〇人

航 往		航 復	
小樽	知取	知取	小樽
水曜日	水曜日	土曜日	土曜日
後十八時發	後十八時發	後一時發	後一時發
前十二時發	前十二時發	後七時發	後七時發
前七時發	前七時發	後六時發	後六時發
前四時發	前四時發	後三時發	後三時發
前二時發	前二時發	後九時發	後九時發
後五時發	後五時發	後八時發	後八時發



小樽知取敷香急行便船客運賃表

船名	小樽	知取	泊岸	内路	敷香
一等	八〇〇	九〇〇	一〇〇〇	一三〇〇	一三〇〇
二等	六〇〇	七〇〇	八〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
三等	二〇〇	三〇〇	四〇〇	五〇〇	五〇〇
四等	一〇〇	一五〇	二〇〇	二五〇	二五〇
五等	五〇	七〇	一〇〇	一三〇	一三〇
六等	二〇	三〇	四〇	五〇	五〇

一等は三等の倍額
二等は三等の五割増
(單位、圓)

市間寫真館

小樽市色内町八丁目四十三番地
電話 七九八番
番替 水橋 四六七番
東京市淀橋區戸塚町二丁目一一一
本間寫真館
電話牛込(34) 二一七五番

カメラは

マツヤ商會

カメラ交換及高價買入
現像・焼付・引伸・迅速丁寧

小樽市花園町東二ノ八
電話 五七六番

眞寫
出張撮影
引伸専門

北日本船株式會社御用

木下寫真館

小樽市中央棧橋通
(北日本汽船株式會社横)
電話(寺西) 一一二七番

小樽市稻穂町西三丁目二十九番地(小樽バス横)

松尾鐵工所

電話 二四六八番

陸用船舶用
石炭機汽機
各種發動機
瓦各種鋸
銼接物

眞寫



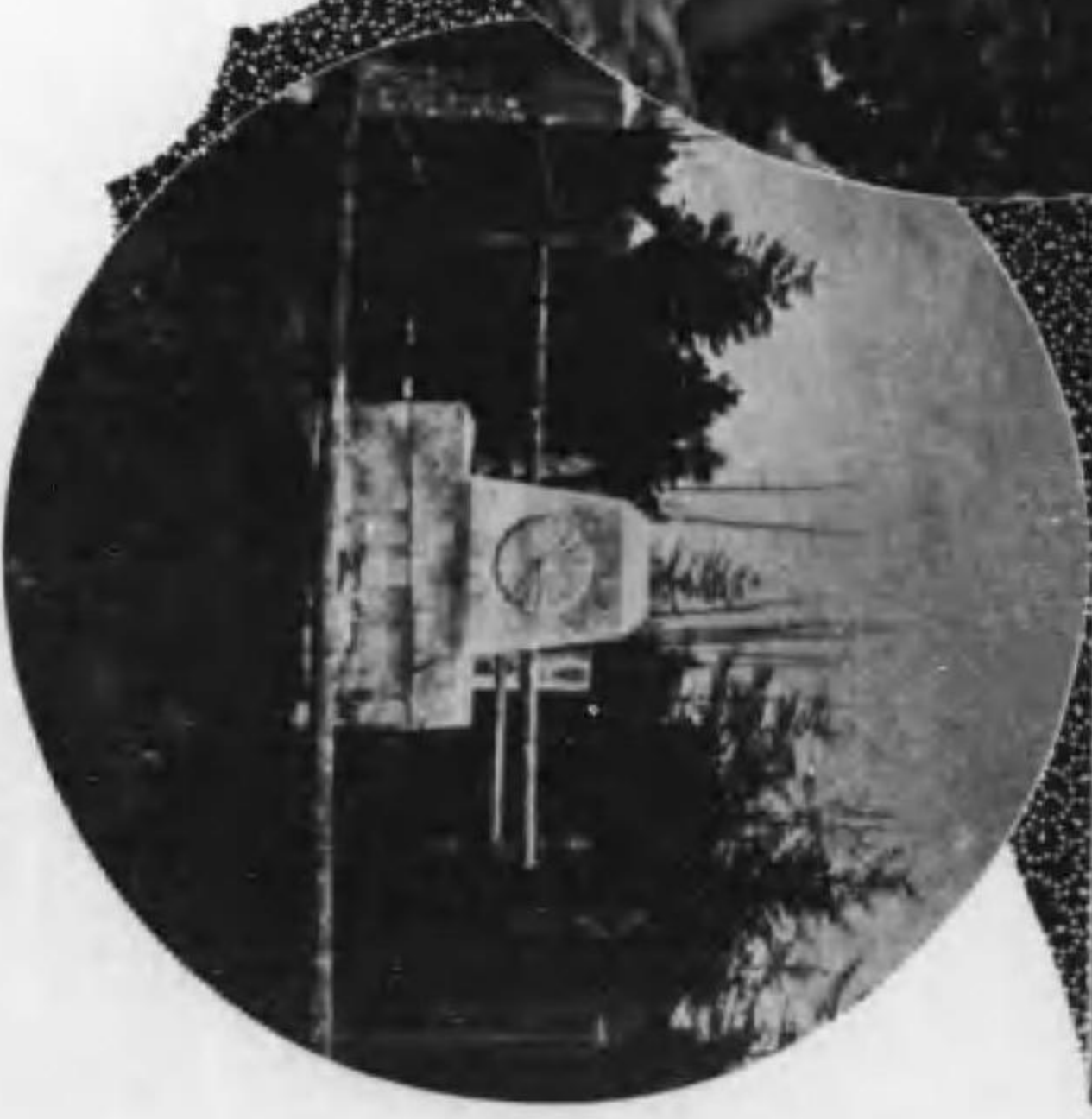
女のロココ



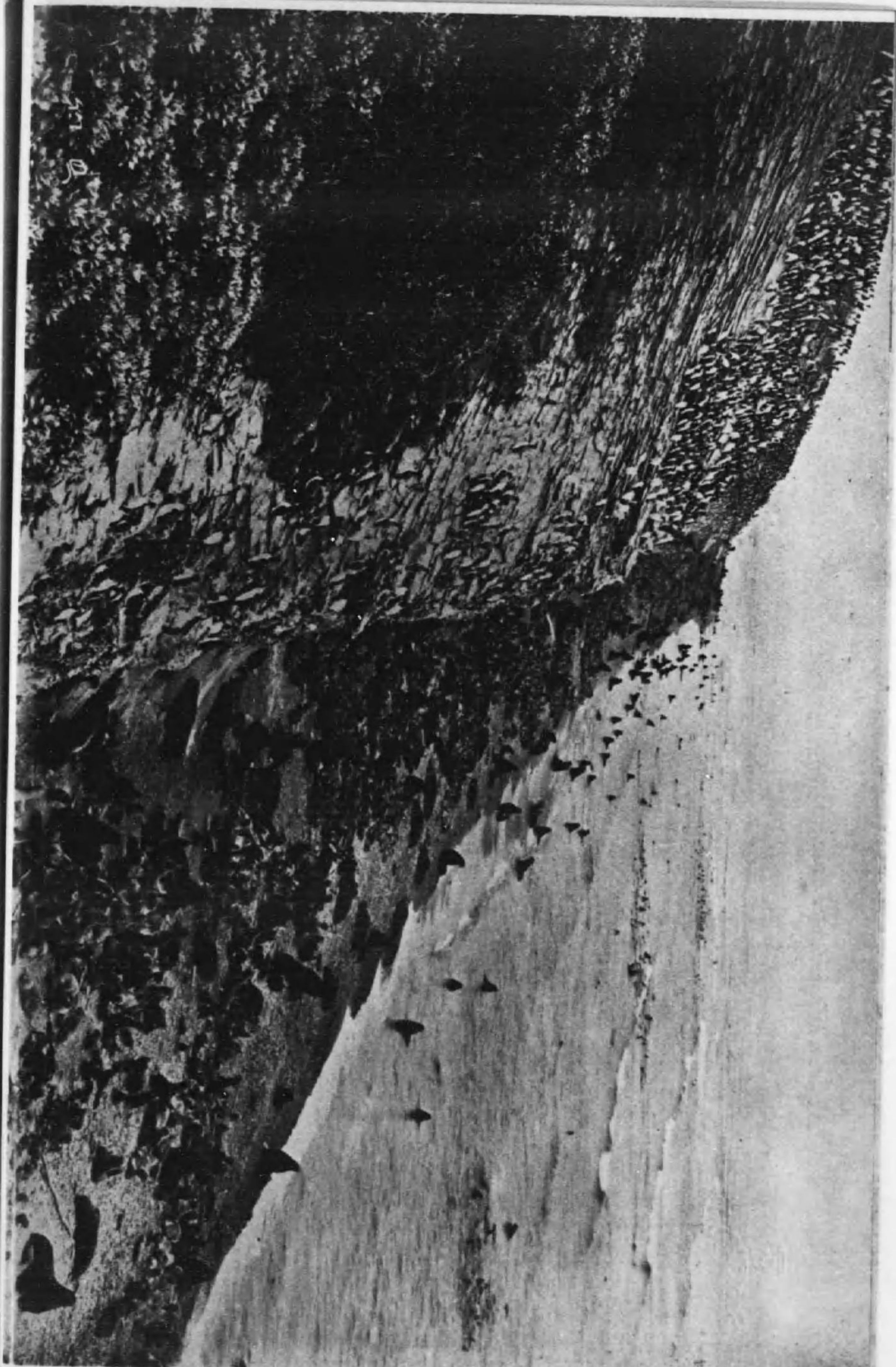
眞寫



送流の木材



神境園



鵜飼船とロケット鳥(海約島)

樺太名好郡安別港

北日本汽船株式會社

安別代理店

全村川回漕店

樺太泊居町

米穀雜貨
藥種賣藥
醫療器械
寫真材料
度量衡器

文三輪商店

電話 五一八番
電話(ミワ)又ハ(ミ)
振替水構五八二七番
振替水構九〇二二番
保險部專用

陸船用各種發動機
製作及修繕
各種機械製作銲接
鑄造及建築金物



中野鐵工場

中野常太郎

工場 泊居町濱町二丁目六
自宅 泊居町濱町二丁目三
電話 四六番

國際通運株式會社取引店
樺太鐵道指定運送店

公認 一板垣運送店

王子製紙株式會社泊居工場
北日本汽船株式會社
專屬 荷扱店
泊居驛前 電話一三一番

泊居、久春内、珍内
其他全島各地行
貨物運搬自動車營業
迅速・低廉

サ 珍内運輸

珍内 佐々木運輸部
電話 泊居代理店 四〇〇番
珍内本店 一〇〇番

割烹
射水樓
御宴會場
泊居末廣町
電話二四番

割烹富士家
泊居電話二一八番

御料理松美家
泊居町
電話二〇番

北日本汽船會社蒔菱代理店
蒔菱共同回漕店
能登仙太郎

御料理
久
泊居町
電話七〇一

レストラン
サロン・キング
樽太泊居末廣町
電話一六二番

北日本汽船株式會社代理店
鵜城回漕店
樽太鵜城港
電話十四番
振替水櫃一七〇八五番

北日本汽船株式會社留久志代理店
留久志回漕店
樽太久春内郡三瀨村字留久志
電話(ル)又ハ(ルクシ)

樽太眞岡郡蘭泊港
北日本汽船株式會社代理店
樽太木材株式會社回漕部

電話二二三番
電 署 カモク

惠須取町南港町三丁目

豪華殿堂
麗人群集
カフェー米久

電話二二七番

樽太應鐵道御指定
小樽商談會御指定

御旅館
西中村屋

大泊榮町驛前
電話六〇六番

惠須取町本町三丁目
旅館 小樽館
電話二六九番

惠須取港波止場前
大黒屋旅館
電話三四番

惠須取町本町二丁目
ふじ屋旅館
電話四五五番

惠須取町本町四丁目
石田屋旅館
電話二八番

内地行は
最も船便の多い
北日本汽船で……
小林回漕店
電話(三)又(三)七番
電話(三)又(三)七番

惠須取町本町四丁目銀座街
サロンミミ
電話三六〇番

北日本汽船株式會社
惠須取出張所
主任 秦 玄 誠
樺太惠須取港本町二丁目
電話一七番

大泊本店 電話(※)三三八番
樺太 北海屋
豊原支店 (豊原駅前)
電話二二二二番

北日本汽船會社囑託
樺太大泊茶町本通一丁目十一番地
杉原病院
院長 杉原進
電話九十六番

▽入院隨意
▽往診應需

樺太廳諸官廳
共同漁業株式會社
留多加林務署
御指定

上木下旅館
樺太大泊茶町西一條二丁目
電話(※)三六八七番

大泊町旭町十字街

カフェー白樺
電話四〇〇番

★とやみ太樺

純島産ウイスキー
☆ポールスタールウイスキー
☆サガレンウイスキー
☆五色酒
★旅のお供に
樺太製藥株式會社
東京出張所
電話(樺太)二二二二番
電話(東京)九一四番
電話(東京)九一四番
電話(東京)九一四番

樺太廳鐵道指定
樺太共同漁業株式會社
樺太大泊茶町西一條
御旅館櫻屋
電話(※)二六九番
一、三階建新館
一、各室卓上電話設備

大泊町本町大通

割烹 岡 の 家

電話 一七六番番

棒太 大泊旭町

鳥なべ 御料理 浪 路

電話 八二二番

★最非御越しを御待ち申上ます

棒太 大泊旭町

うなぎ 御料理 菊 水

店主 田中政次

電話 一三五番

棒太 大泊町

割烹 高野 家

電話 一三〇番

大泊港榮町十字街

カフェー 北海 亭

電話 五一八番

棒太 豊原(市ノ中央)

御旅館 花屋 本店

電話 三三三番番
三六二番
三六一番

店主 伊藤芳治郎

- 一、各室ハ八畳ニ次間付キ卓上電話アリ
- 一、全島ニ誇ル浴場(朝夕)
- 一、大娯樂場完備(撞球其ノ他)
- 一、宿料ノ大サーブス普通 泊 一三 三四 五十 銭

棒太 豊原市エビス街

レストラントカフェ

アツマ 會館

アツマ 茶房

アツマ 棒太廳食堂

電話 二二七〇五番番
二二八八〇番番



社會式株送運同合太樺

地番二通大町榮港泊大太樺

電話代表一六八番番
小樽一四三〇五番番

専 屬 荷扱店

大泊 驛前

大泊 營業所

電話代表六一番

大泊港驛構内

大泊港出張所

電話 六九二番

大泊港驛構内

連絡作業部

電話 一〇六五番

豊原 驛前

豊原 支店

電話代表二一五三番

北豊原 驛前

北豊原出張所

電話 二六六六番

棒太廳鐵道指定運送取扱人
大北火災保險會社 代理店
大北火災保險會社 代理店

知取町驛前

移轉新築
高等旅館

② 知取ホテル

電話 三〇三番

樺太知取驛前

③ ふじや旅館

電話 三〇一番

樺太知取町

合名 梅屋商行

代表社員 丸山進

電話 一四一九番

振替口座 小樽九四一一番
丸山進
知取町字東棚丹

米穀 雜貨 細坪商店

樺太知取町初音町二丁目一九番地

電話 三五番

① 東海運輸株式會社

出張所

電話 六番・十六番
樺太敷香郡泊岸港

樺太知取町

長蓮野委託問屋

海産鮮魚
冷凍魚類
各國果實
蔬菜漬物

店主 蓮野一郎

本店
電話 二四七番
小樽市 電話 一四七番
電話 一四七番

日本生命 知取代理店

知取町初音町

米穀 雜貨 稻原商店

電話 三〇三番

④ 西條武平知取支店

知取港初音町 電話 一三八番

⑤ 西條武平濱店

濱町 電話 四五一番

ツーリスト指定旅館

千歲屋旅館

樺太知取港停車場前
電話 三一四番

樺太知取町

株式會社

止 大鋸回漕店

電話 一〇二・二〇七・二三九番
振替貯金小樽七三七九番

海産鮮魚果實
漬物委託賣買 問屋

樺太知取驛前

天印 魚菜委託問屋

電話(テ)又(ハ)テ
電話四一三九番
振替水構一六五五一番

天印製 氷部

店主 横内與太郎

樺太の名物：帆立羊羹

高級百菓

井 奥 井

樺太知取町
電話四三六六番

樺太散江郡西野頃港

合同回漕店

樺太散江郡散江村能登港

北日本汽船
株式會社

代理店 田森回漕店

敷香町公會堂前

半澤寫真館

電話二三五番

オタス出張所

敷香風景寫真トエハガキ
其他珍奇寫真豐富
オタス土人工藝品一手販賣

日本人絹バルプ株式會社專屬

北日本汽船株式會社
近海郵船株式會社
川崎汽船株式會社
栗林商船株式會社
大西汽船部

代理店

樺太敷香港



敷香海陸運輸株式會社

社長 鵜澤宇八
專務 系井勝則

事務所 電話四一六七・五七番
第一岸壁 一三三番
第二岸壁 三三五番
人絹詰所 三三五番

言はず隙間もなく群がり、鳥を覆ひ被せ、さながら胡麻鹽を撒いたかのやうな奇観であります。このロツベン鳥とオットセイは非常に仲が良く、動物界稀に見る美談の持主で、つまり隣保共存の思想が大いに發達してゐるのです。

毎年この島にオットセイが群集するころ、まるでその影の形に添ふ如く、何處からとなく数十万羽飛來します。そしてオットセイの喰ひ残しの魚肉を喰ひやがてオットセイがお産し胎盤が散亂すると、それもロツベン鳥が綺麗に掃除しやうといふのです。即ちその胎盤が大好きなので、それや喰ひ残しに眼をつけて行動を共にしてゐるのであります。だから大切な御主人に若しものがあれば、竟畢自分も困ることであり又唯御馳走になりばなしでは仁義が立たないと云ふので幸ひ高い岩の上にいるから、四方の哨戒の役目をつとめ、怪しいものが迫れば直ちに羽搏きながら危険を通報して、以つて、オットセイ達が安心して十分にその桃色の營みを營むことが出来るやうに、つまり、後顧の憂ひをなからしめると云ふのでありますから嬉しい話ではありませんか。

このロツベン鳥の鳴き聲も、また耳を聳する許りでオットセイの咆哮と相俟つて喧囂、天地を搖がし、百萬地獄に陥ちたかと思はれる此の世ならざるかの感があります。ともあれ海豹島は世界の獲奇島であり、又神秘境であります。



ロツベン鳥の雛と卵

「そうだ！ 憎いシヤモを殺して終まえ。疊んでしまえ」と口々に叫び、酒をあほつて氣勢をあげました。

五百に近い屈強のアイヌ勢は、コシヤマインを先頭に土を蹴たてて猛獸の如く、志苦館に迫り之を一蹴しました。勝誇るアイヌ勢は次いで箱館を圍み之も一舉に葬むらんと攻勢あたるべからず、まさに破竹の勢ひであります。館主、河野政通は手勢の少い處へ不意に攻められ散々敗北して、茂邊地館に通れ力を合せてアイヌ軍にあたることになりました。上の國にあつて此の急を知つた武田信廣はその主たるべき颯峠季繁に

「是非此の度のアイヌ軍征討の役を、自分に命じて下さるやうに。」と頼みました。

「ウムそちなればと余も思つて居た。」好漢、信廣は時來れりと小躍し、手兵を率ゐる疾風の如くアイヌの根據地箱館を衝きました。

六月五日の朝、信廣の率ゐる三百の兵と、コシヤマインのアイヌ軍六百は七重濱で決戦しました。然し味方は長途の強行軍に、兵は疲れ、且つ衆寡の隔り甚だしく戦の形勢は不利であります。

夕風がそよいで、七重の濱に赤い夕陽が照らす頃、血に塗れた幾百の死体が横たわつて

北日本汽船株式會社函館代理店
大阪商船株式會社函館代理店
函館市仲濱町拾四番地

海運業
船舶代理業
倉庫業

合資會社
共同回漕店

代表社員 佐々木 玄吉

電話
代志番號
荷捌所
三三三三
四七七七
〇三二一〇
番番番番



溫泉旅館



松の寮

函館郊外湯の川湯の尻



電話二三一〇番

北日本汽船株式會社御用達

函館市末廣町百十一番地

鐵工
造船
船舶
切工
船具
木工
ノ工
事

本間造船鐵工場

營業主 本間寅吉

電話 一六七八九六番
振替口座小樽一九五六七番

共正組

北日本汽船株式會社
專屬通船

營業所 函館市東濱町九
電話 二四番

營業主 金谷孝之助
函館市船見町一〇八

北日本汽船株式會社專屬

合資會社  船具機械店

函館市仲濱町拾六番地
電話 六〇八番



營業目

和洋酒罐詰
雜貨砂糖
乾物野雞卵
內海名産
北みやげ品

北日本汽船株式會社御用達

藤井清太郎商店

函館市末廣町一ノ八番地
電話 六十一番
取引銀行第一銀行支店
振替口座小樽一九四三四番

北日本汽船株式會社御用達
各船舶鮮魚御用達

鮮魚商 **富**印 宮川寅吉

函館市豊川町三十五
電話三四九三番



函館市外湯の川松倉河畔

温泉御料理 **大和**

電話一、〇七〇番



海産肥料鮮魚問屋
明太魚明太子魚油製造
冷藏船取扱

三本間權平商店

製造部
北海道古平港
電話四百二十八番
電話(ホンマ)又(ホ)
水機振替 八五〇七番

北日本汽船株式會社專屬

海陸仲仕請負業

八古川組

函館市眞砂町貳番地
電話三八八八番

營業主 **古川榮八**

北日本汽船株式會社專屬

函館各回漕店專屬



目	種	業	營
倉	陸	船内	運
庫	仲	仲仕	漕
	仕		解
所	業	營	

函館市辨天町三七番地

營業主 齋藤五一郎

電話一、一二九番

函館市仲濱町四六番地

一印 齋藤運漕店

電話一、四八四番

函館市若松町一一四番地

一印 齋藤倉庫

電話一、七二二番

社團 大日本漁撈長同志會

大日本漁撈者相互救濟會

附屬 函館診療所

院長 高橋寅太郎

函館市仲濱町十三番地
電話九七三番

北日本汽船株式會社

三 函館在勤員

函館市仲濱町一四
電話三七一〇番

北日本汽船株式會社岩内代理店

八 由利回漕店

電話五三番

水産加工米海雜
物産穀貨

吉 吉野商店

北海道古平町大字港町
電話ヨシケン又ハケン
振替水橋五〇七四番

北日本汽船株式會社余市代理店

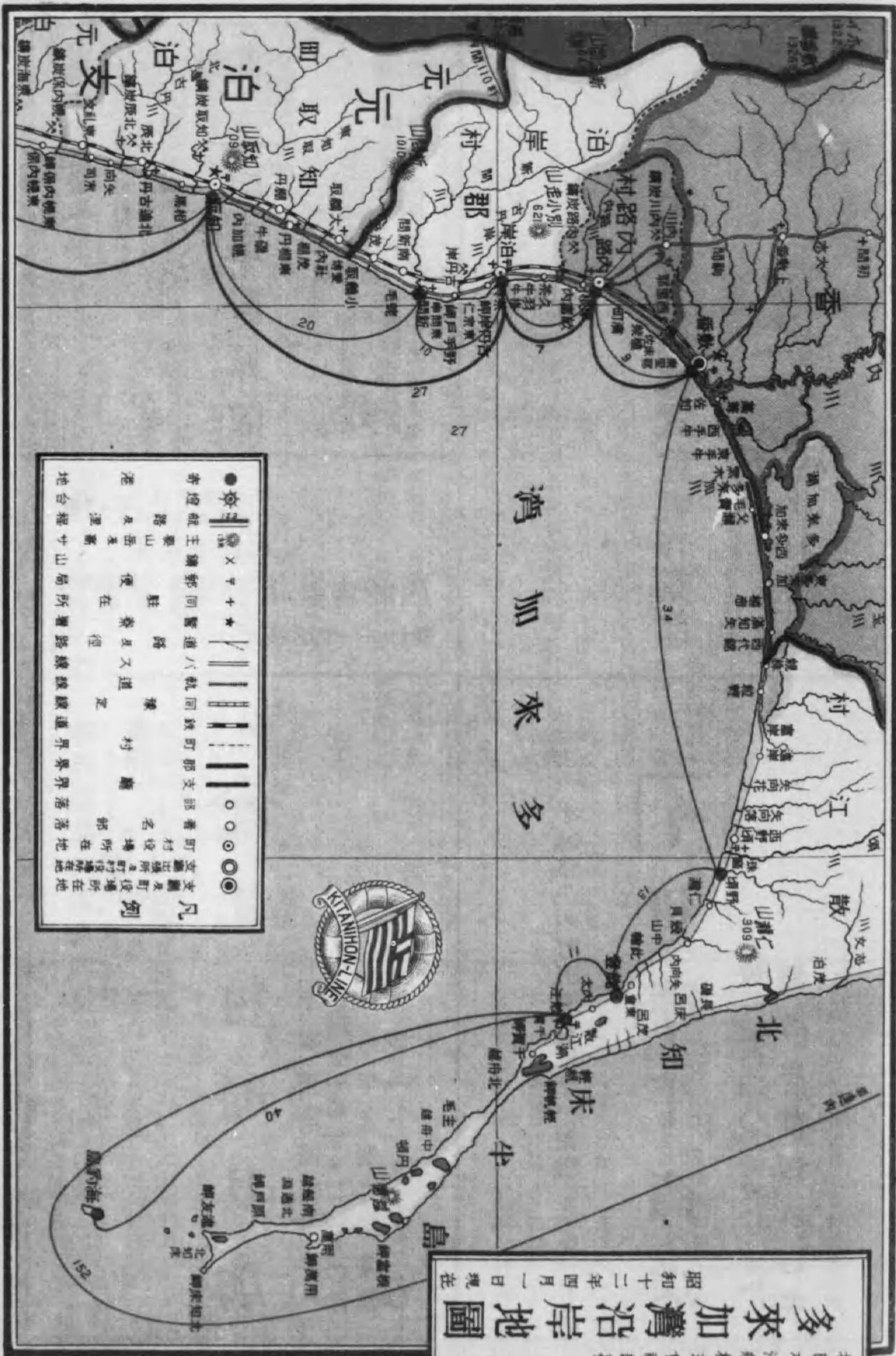
倉庫業 時田回漕店

北海道余市港
電話一八番

北海道余市町

海産物問屋 中 小川一郎商店

電話一七六番
電話ヲカワ又ハ一



北日本汽船株式會社御用工場

營業一 船舶新造並ニ修繕請負業
種目一 其他木工ニ關スル諸般ノ業務



遠塚谷造船所

營業主 遠塚谷鐵太郎

小樽市色内町五丁目四十一番地
電話 九百拾六番

北海道古平港

海産物肥料
日滿鮮魚貿易
陸鮮魚易屋
支鮮魚出問屋
日鮮魚出問屋
明太魚出問屋

本本間愛藏商店

電話 七十七七番
電話 水橋一四八二番
電話 略 (アイ) 又 (ア)

三立合名會社冷藏船第一堀内丸元取扱
太平生命會社代理店
取引銀行 北海道銀行古平支店

北海道廳命令定期航路藤山汽船取扱店
北日本汽船株式會社江差代理店
各社海上保險代理店

大島回漕店

北海道爾志郡熊石港

佐野回漕店

電話 十五番

北海道瀬棚港

星野回漕店 星野富多郎

北日本汽船株式會社專屬
建築請負業

伊東孝治郎

小樽市稻穂町東八丁目
電話 四〇四五番

北海道福山港代理店

工藤回漕店

電話 一〇〇番
電話 (クト) 又 (ク)

信用本位の……

木炭問屋!

日高製炭移出問屋
住友炭礦專屬販賣店
北海道瓦斯會社コークス特約店
月星豆炭北海道配給所

中村喜男商店

電話 二七三〇番
小樽市開運町三ノ一三番
電話 水橋一六〇四〇九番

牛鳥

すき焼



小樽東雲町とき安通り

すき焼
御料理

千代本

小樽市山田町六番地
電話三三〇七番

1011

C

北京料理 雅叙園

小樽市東雲町
電話一八〇三番

御手輕の

御晝食御夕食は是非く

小料理
名代おてん

うつつぼ

小樽市稻穂町西六ノ六
小樽驛下静屋通リ
電話一七一〇番

割烹御料理

海陽亭

小樽市山ノ上町九番地

電話三三一四番

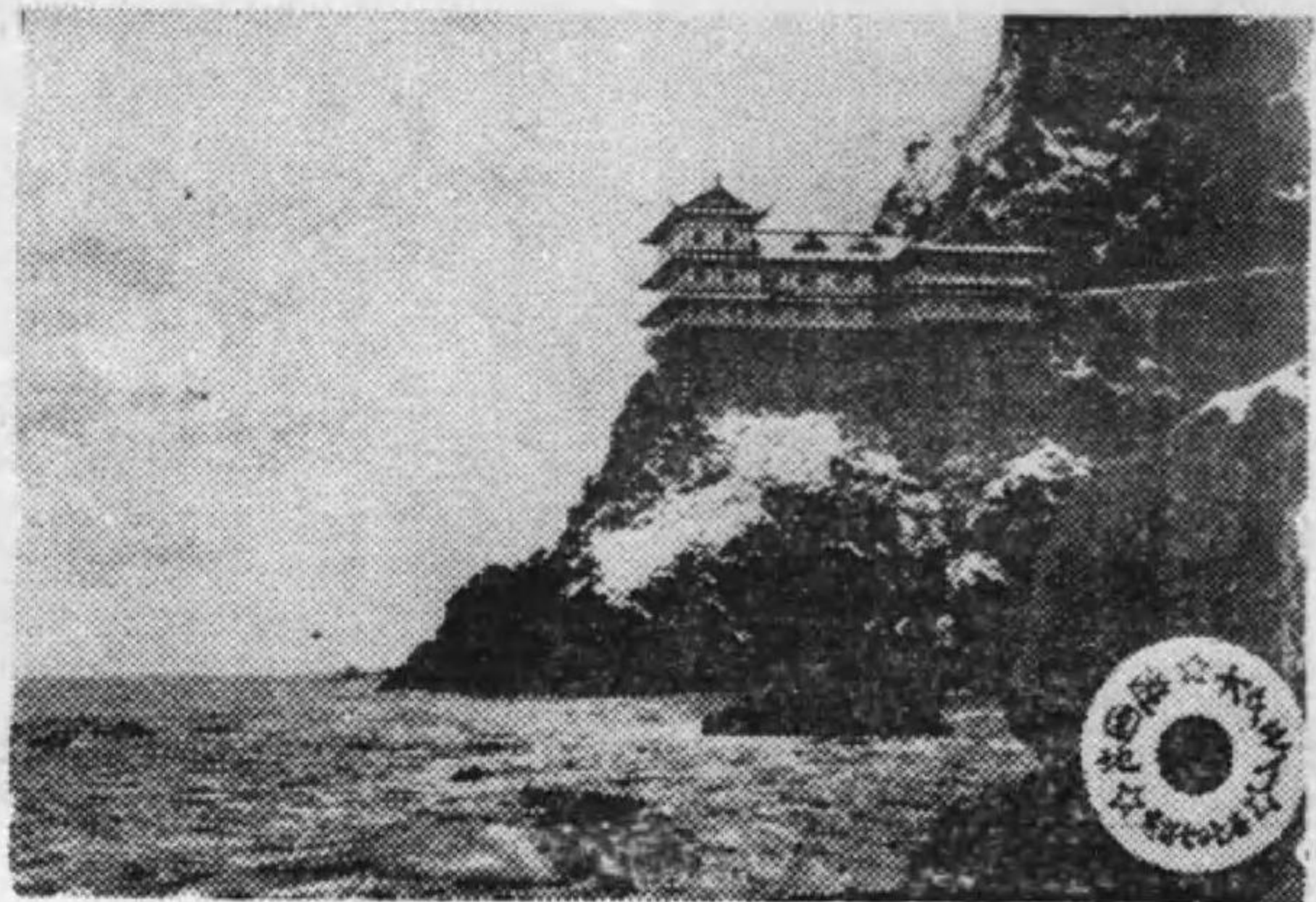
小樽市花園町東三丁目十七番地

割烹 嬉志野

電話一八三一番
一五九六番

1013

C



小樽蛇の目 電話三七六一
 オタモイ遊園地
 龍宮閣 電話七〇七

辨天堂 演藝場 休憩所 稻荷社 大食堂 グラウンド 貸席

割烹御料理

迎陽亭

小樽市花園町東三丁目
 電話 一八七二〇八番
 一七六二〇八番
 七二二五番

小樽市稻穂町

割烹 うなぎ
福井屋

電話二八二七番

鳥料理専門 **阪内亭**

佐野善三

小樽市花園町東四ノ十二
 電話八六七番

小樽市花園町東一丁目

うなぎ 割烹 **カ松島屋**

電話二三七番

小樽市花園町公園通り

カフェー **金波**

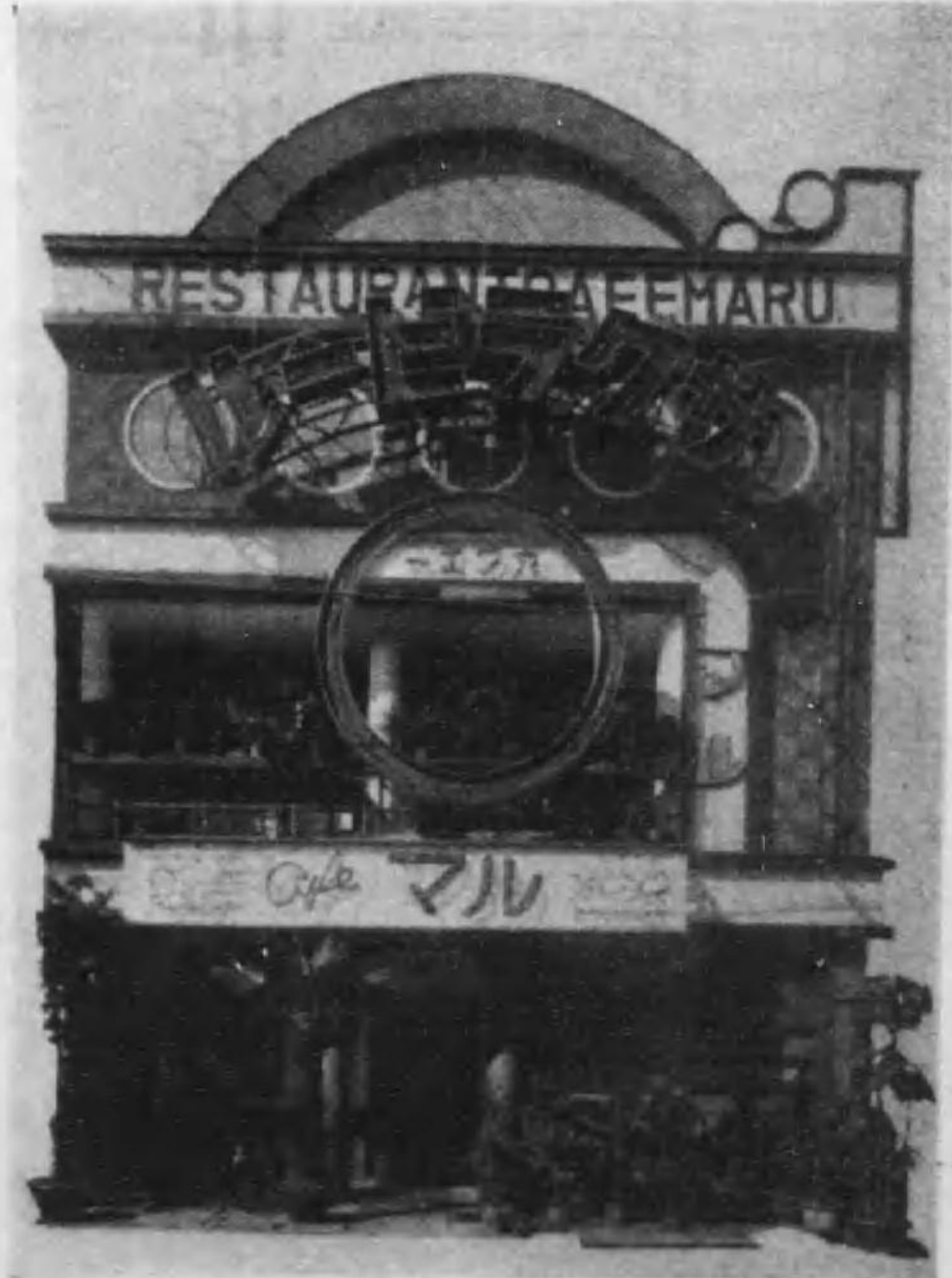
電話二二二一番

小樽市東雲町

割烹 すき焼 **呉竹**

電話八〇二番

樽
都
カフエー界の
權威



麗人殿堂 カフエー マル
電話三五九八番
小樽市稻穂町

一〇七

C



小樽
割烹 天政
御料理
電話四十八番

牛鳥すき焼
並ニ御料理
新
空
春
小樽市妙見河畔
電話二二八四番

鮭・鰻・鯉
川魚 松村 猛
専門 松村 猛
食堂ノ設備アリ
地方出荷迅速
小樽市稻穂町都通リ
電話一九七三番

諸官廳會社御用
大量注文モ即日迅速
小樽市 菟美堂 額様店
〒本町 電話二四〇九番
工場 電話二四九二番

新鮮な生ビール
サロン 十 八 番
小樽市花園公園通
電話一三四七番

カフエー ル
小樽市都通リ

小樽市稻穂町大通リバス前
カフエー コ ガ ネ
店主 鷺平榮太郎
電話三八七八番

カフエー イー グル
小樽市花園町東一ノ六
電話七三三五番

小樽市稻穂街
カフエー 清 龍
電話五四二番

一〇六

C

(樽小) 岸海イモタオ



市内乗合自動車営業
全道各地観光貸切営業
市内名勝遊覽(美人ガイド説明附)

本社 小樽市稻穂町東三丁目二十九番地
電話 三〇一一・三八七七番

小樽市街自動車株式會社

社長 河原直孝
専務取締役 杉江仙次郎
同 谷專太郎
支配人 小谷熊豐治

◎名勝地御遊覽の御相談に應じます

創立明治廿七年

支店出張所 東京道内
四十九箇所

小樽市色内町



株式會社 北海道銀行

頭取 加藤守一

受託事務
宮内省特別預金店
日本銀行代理店
日本銀行地方支店
北海道銀行

電話代表番號 二、八五〇番
振替貯金小樽 二、三二番



大沼公園

傳説に富む(瓶子岩) 江差港



傳説に纏る層雲峽

今は昔アイヌはなやかなりし頃、何處とも同じ部落と部落の争闘は絶えまがかりませんでした。

一年前、アイヌと石狩アイヌが戦つた時、膽振アイヌの美丈夫は武運つたなく石狩アイヌに捕はれ、身となり、復讐と敵愾心にもたえられ、石狩アイヌの管が、日となく夜となく彼に加へられて、衰弱はつるばかり、嘗つて陣頭に雄たけびあげて、味方を奮ひはげました勇士の面影を今は見ることができなくなりました。

石狩アイヌの酋長に、もの思ふ年頃に達したピリカメノコがありました。ピシリ、ピシリ風を切つて鳴る管の音を最初は彼女も深く氣には止めませんでした。乙女心の優しさから何とはなしに衰れとも聞きました。又父に反抗した者の當然受べき刑罰であるやうにも思はれました。しかし、やがてそれが若者の感ずる肉體的な痛みを以つて、彼女の胸を打つやうになりました。憐憫が同情へ、更に憤りにまで昂つて行きました。そして多感な彼女の胸がやるせない懊惱にしみつけられるやうになつた時……それは既に戀であつたのでした。

その頃、彼女の父は心ひそかに娘の將來を托すべき石狩第一の勇者を物色しつゝ、ありま

眼鏡店、工藤時計店、榊原玉光堂（陶器業）加藤隆久商店、吉川豊吉商店（書籍文具具業、玉柳商店、東美堂、丸文書店、近藤運動具店（百貨店）今井吳服店支店、寺西百貨店（大工業）高井家具店、伊東孝次郎商店、遠坂谷造船所（製靴業）龜井靴店、小林靴店（廣告業）廣告研究社、北海道浴場新聞社（寫真業）陣内寫真館、本間寫真館、木下寫真館、マツヤ商會支店（保険業）大坂海上火災保險會社出張所、三井生命保險會社支店、仁壽生命保險會社支店（菓子業）西村洋菓子店支店、千秋庵、愛信堂（洋服業）中達洋服店、神坂洋服店（其他）小樽倉庫會社、藤井紙店、柴田クリニング工場、全國米穀販賣購買組合聯合會小樽販賣所、伊藤平藥店、齊田テント店、小杉綿布店支店、田澤兄弟繩纜商會、奥山ウエス製造店、香風園盆栽店、長尾印房

〔銀行〕三菱銀行支店、北海道銀行、三井銀行支店、安田銀行支店、第一銀行支店、北海道拓殖銀行支店

〔病院〕愛生病院、岩城病院、三谷病院、太田病院、矢野病院、小樽肛門病院、長谷川商科醫院、淺島整骨療院、織田整骨療院、明治眼科醫院

〔料理家〕とき安、迎陽亭、海陽亭、蛇の目、新松島、中島屋、団松島、嬉し野、壽司よし、天よし、うつぼ、雅叙園、千代木、福井家、阪内亭、星風亭、新とよ、天政、船屋、吳竹、北斗見番

〔カフェー〕マル、パノン、棧橋、オーケー、X、イトウ、ライオン、ふじや、青空、珊瑚、三船、松見、ナボリ、金波、モンパ、ひびき、三日月、メルボン、ルリ、清龜、黄金、イーグル、十八番

〔旅館〕越中屋ホテル、北海ホテル、中央ホテル、小樽館、船屋、森旅館、若旅館、つるや旅館、泉屋旅館

〔函〕ゼニバコは朝里村の大字で、左に近く小樽海岸一帯の連山を控え、右は砂汀が遠く連つて、遙かに石狩、天鹽の連山を望む、眺望開闊の地であります。海が遠淺で砂濱が廣いので海水浴場として、夏期頗る賑ひます。又海水浴期間中、海濱に玫瑰（ハマナス）が一面に紅く咲き誇り美観であります。

〔名勝地〕錢函ゴルフ場、朝里岳

潮かほる北の濱邊の砂山の
かの濱薔薇よ今年もさけるや
……啄木……

輕 川……ガルガワは手稻村の一部落で附近は廣漠たる石狩平野を控え、畜牛盛んな土地で牛

者の方が正確でありませう。

上 磯：カミイソ町はアイヌ語「カムイソ」から出たもので「神又は美しき岩」の意味であります。附近に奇岩、怪石の突出した所がある為め土人は斯く稱したもので其の儘現地名に轉訛したものであります。

森……モリ町はアイヌ語「オニウシ」の意義で、即ち「樹木の茂りたる所」から出たものであります。昔時は此の附近に樹木が群生してゐたもので、後、和人が之を「森」と現稱するに至つたものであります。

八 雲：ヤクモ町は神代、素戔嗚尊が出雲國で詠じ給ふた「八雲立つ出雲八重垣つまこみに八重垣つくるその八重垣を」の古歌に因み「八雲」と命名したものと謂はれ町名にも出雲町、八重垣町等があります。また熱田神宮の分靈を請ひ日本武尊を村社に奉祀した為め之に因んで出たものとも傳えます。

長萬部：オシヤマンベ村はアイヌ語「オシヤマンベ」から出たもので、比目魚の居る所を意味します。昔比目魚及鱈の漁獲が豊富であつたからであります。また一説に春陽漸く北邊に訪れ、長萬部山の残雪が比目魚の型に見え出す頃を土人が漁期としてゐたから斯やうに稱したとも云ひます。

岩 内：イハナイ町は異説が種々あつて信據すべき資料がありませんがアイヌ語「イワウナイ」から出たものと思はれます。硫黄川の意味で、當地の東南にあたる「イワウヌプリ」（通稱硫黄山）から現に硫黄の産があります。

余 市：ヨイチ町はアイヌ語「イオチ」で蛇の多い處の意味であります。往時余市川筋には蛇の多かつた為め名付けられたものでありませう。また一説には「イヨチ」で、即ち目が眩むの訛りたるものと云はれます。附近の海岸には断崖になつた處多く、其處に立つて海を見る時は眩惑を感じますから、土人が斯く稱したものを其の儘とつて地名としたとも謂はれます。

小 樽：オタルはアイヌ語「オタナイ」で小石の川の義であります。石狩、小樽兩郡の境界を爲す「オタナイ」川を指すものであります。現稱小樽は舊松前藩主當地を領した時オタナイ川の支流「サヲカオマア」に住居した土人を勝納川（現稱）附近に移し漁場を開き「小樽場所」と呼んだに始まるると謂はれます。尙「オタル」はアイヌ語にて砂の路の意味します。

港の苦熱も紅塵も忘れるといふ所で御座います。

緯度標石：此の玉垣の中に在ります標石は日露戦役の結果、樺太の國境を決定した時に使用致しました標石中の一個で御座います。同戦役に於て我國が豫期以上の大勝利を博し、北緯五十度以南を我が國土に編入に當りまして、日露兩國の委員達が當地に參られ、會議を開かれたので御座います。其の折日本側委員長陸軍大佐大島健一氏、委員志賀重昂博士等が露國委員と苦心折衝致しました會議室（近海郵船樓上）は後程御覽に入れたいと存じます。

港灣：此處で此の眼の下に展開致します小樽港に就て、極く簡単に説明させて頂きます。御承知の通り小樽の生命は、港小樽と申します如く、港灣で御座います。小樽港は天然に良素質を具へました良港で御座います。時代の要求に應じ、遂次新たな施設をなし、正に世界的の商港として飛躍の前途に立つて居ります。港の面積は約百三十萬坪、横濱港とほぼ同じで御座います。水深は平均三十一尺で御座います。如何なる大船、巨船でも自由に碇泊が出来ます。けれども現在の港小樽の繁榮を来すまでは、明治三十年以後港灣修築に約二千五萬圓の經費が投ぜられて居りますが、今後更に一千四十二萬圓の經費が投ぜられることになつて居ります。現在の

北日本汽船株式會社 北海道全道圖 在現日一月四年三十和曆



日本油脂株式會社
花王石鹼株式會社
特約店

紙、文具
茶、石鹼
卸商
池田市造商店

電話 三四六五番
振替小樽三九〇番

ホーム・メイド
自家製
家族的
喫茶室

西村洋菓子店

札幌 駅前 電話 九四八番
小樽花園町大通 電話二〇九二番

洋生菓子一切
デコレーション・ケーキ
ロシヤ・チョコレート
（ザハロフ・ロフ・）
パイン各種

小樽市花園町東二ノ十一

カフェー
オーケー

宮川 督

太樺行定期船切符取扱旅館
停車場通り棧橋前

森 旅 館

小樽市稲穂町東七丁目二番地
電話二七九七番

小樽市稲穂町東七丁目二番地

千 秋 庵

電話 一二三三番
振替水樽三一〇〇番

樽都カフエー界の
美人ベロー群堂

割 煮
カフェー
フジヤ

小樽バス本社前
電話二三五五番

小樽市色内町五ノ四五

愛信堂 田母神安幸

電話一六二四番

カフェー 松見

小樽市稻穂町西三ノ六
電話一三六八番

小樽市色内町七丁目

越中屋ホテル

電話 二四番 二五番

御宿料
洋室 御一人御一泊 金参圓以上
御家族向キ洋風應接間付金六圓以上
純日本間御一人御一泊御食事付
金参圓以上金七圓迄

御食事西洋食共 朝食 夕食
御宴会 御一人様 貳圓五拾錢
御茶會 同 七拾錢ヨリ

小樽市稻穂町東三ノ九

カフェー ミフネ

店主 三浦ナツ江
電話三四三六番

新築落成

割烹 新

松島

小樽市色内町
電話七一〇番

小樽銀座街(番テパート前)

カフェー

X

電話五八一番

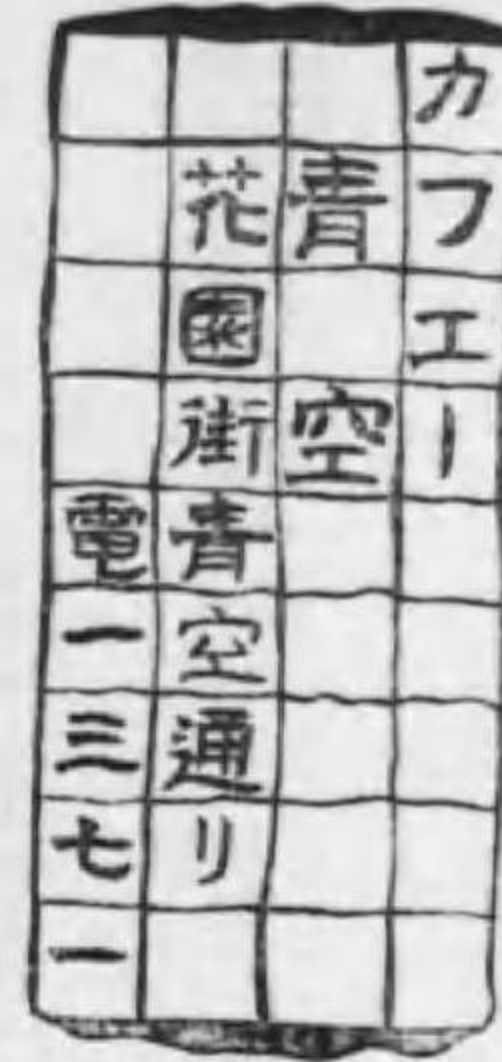
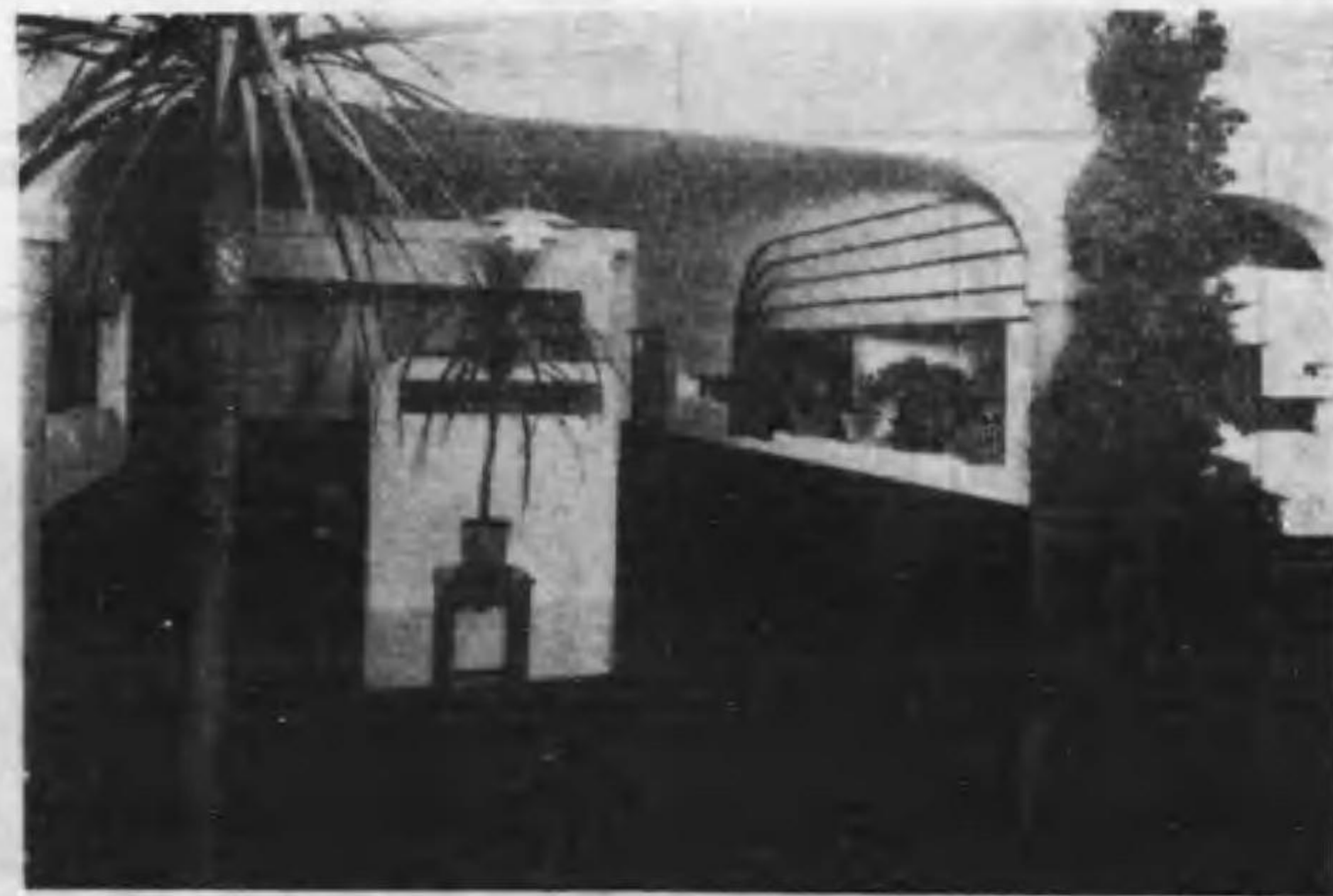




小樽 カフェー
樽 界の王者

パノン

電話3588番



カフェー
居心地の良い
遊び易い店
小樽市稲穂町西六ノ二
電話九六七番

カ
フ
エ
ー
ひ
び
き

割
カ
フ
エ
ー
烹
三
日
月

小
樽
市
四
手
宮
二
錦
番
町

CAFE SANBASHI

★みなと小樽第一の社交場



カフェーさんばし

小樽色内十字街・TEL.No 492.

北海の女護ヶ島

カフェー
イト

小樽市稲穂町(中央座通)

電話二九七一番

營業種目
料理部
日本料理
支那料理
藝妓部
見番
置家業

御祝儀御宴會ハ殊ニ勉強
仕ルベク候

料理部
中島屋
藝妓部
北斗見番

小樽妙見町
電話 八五〇八番

小樽妙見町
電話 二五三番
六三九番



小樽市稻穂町西八丁目十四番地
千福醸造發賣元



合名
會社

三宅清兵衛商店小樽支店

電話 二四八五番

小樽駅前通

旅館 小樽館

電話 一六六九番

小樽市内大通(トキ略電)

旅館 谷井 指定局 スリーツンパヤジ
ローユビ 道 鐵

電話 一五七六番

小樽市中通 郷土色豊か



北海ホテル茶館 !
同 ! 七カモパンリ !

小樽市銀座街
儀小林靴店
電話 一七六九番

樽都表大支關口小樽驛眞正面
市街自動車停留所
全國産業
組合指定
つるや旅館
館主 長井平太
電話 四七七七番

近代的設備を誇る

藝術寫眞は……

小樽市花園町西三丁目

陣内寫眞館

電話三三三二番

御料理 仕出し
支店 天 壽 司 よ よ し

小樽調理師信友會幹事

鹽 谷 末 吉

小樽市稻穂町東七都通
電話 三八五〇番
電 略 シ(又ハ)シホ

札幌：サツボロはアイヌ語「サツ、ボロ」から出たもので、乾きたる廣き場所を意味します。昔時豊平川の汎濫した跡が乾燥して廣大な乾原となつた爲めでありました。

瀧川：タキカワ町はアイヌ語「ツ、ラプチ、ベツ」で流下る川の意で略して瀧川と名付けたものであります。此處で石狩川に合流する空知川の上流には瀧があるので土人が斯く稱したものでありませう。

帯廣：オビヒロはアイヌ語「オベレメルプナイ」(川尻の壊れた川)から出たもので「オベレベレ」オベレベレ「オベ、ヒロ」と變し遂に今日のオビヒロに轉訛したと云はれます。

釧路：クシロはアイヌ語「クツチャロ」の轉訛したもので咽喉の意味であります。市内を貫流する釧路川はその源を「クツチャロ」湖に發し、此の流域は古來アイヌ族の大部落を形成した所で、今尙市の内外には砦跡、穴居跡、其他先住民の遺跡があります。

根室：ネムロ町はアイヌ語「ニムオロ」から出たもので樹木の繁茂する處の意味であります。又一説には「ネモロコタン」池の在る處の意、即ち風連湖を指したものであると云はれます。

スキー小樽

都會で最もスキーに恵まれて居るのは小樽であります。市街そのものが起伏の多い山腹に形成されて居るから、一步屋外に踏み出せば、スキー可ならざるはなしと云つても過言ではありません。この至る所に展開される緩急長短種々のスロープは常に粉雪に蔽はれ、夜間照明の設備もあつて、老若男女を問はず晝夜の別なくスキーに精進する情景は、他で見られぬところでもあります。又郊外には中級山岳連立して、山岳スキーにも恵まれて居り附近スロープは十二月中旬から三月末迄、山岳ならば四月一杯は滑れます。

主なるスキー場

○緑ヶ丘：小樽駅から西南へ約一軒、第一回全日本スキー選手権大會のあつたところで一般向の練習場があります。

設備の概要は、第一は、繫船岸壁で御座います。堤町及び港町地先は三千噸級の船舶を一時に三隻、又尻町地先は六、七千噸級二隻を繫船することが出来た。

此の堺町地先の岸壁に續いて、昭和十年から向ふ七ヶ年の豫定で、國營の埠頭三基が築設されることになりました。此の埠頭計畫が完成の曉には一時に十三隻の船舶がつくことが出来、一萬噸級の大船も自由に繫船出来るさうで、港灣の設備もほぼ完璧を期することが出来る様になり、附近に密集して居ります澤山の倉庫や臨港鐵道の便によりまして、益々現代的港灣と致しましての價値を發揮し得る次第で御座います。

防波堤：向ふに見えます防波堤は總延長一萬一千七百三十尺(三十二町三十五間)御座いますが、此方を南防波堤と申し延長六千九百七十七尺、彼方を北防波堤と申し延長五千六百三十三尺御座います。更に港内の波浪を穩かにする爲め、此の兩防波堤に續けて、副防波堤二基を築設すべく目下工事を急いで居ります。

鐵道省貯炭場及棧橋 又右に見えますのは鐵道線の貯炭場と棧橋で御座います。之れで此處からの説明を終りました。どう

- 櫻ヶ岡：小樽驛から南方一軒半、南小樽驛から西南一軒、一般向の練習場であります。
- 聖ヶ丘：南小樽驛から西に一軒足らず、小樽公園内にあつて、初心者向きの練習場でありますが、夜間電燈の設備、各種の練習シャンプエがあります。
- 望陽山麓：南小樽驛から約二軒、至る處好スロープで臨立小樽中學校附近一帯は五〇米飛躍し得るシャンプエ、夜間照明の練習シャンプエもあり萬人向であります。

スキー小屋

- 朝里岳ヒュツテ：(南小樽、小樽築港驛下車) 朝里岳の山麓、標高約六〇〇米の箇所、白樺と針葉樹の混生林に囲まれてゐます。朝里岳、余市岳、白井岳登山の根據地でヒュツテ迄行くのも面白いコースであります。
 - 一、南小樽驛から、約二軒の、臨立小樽中學校附近から、軍用道路を約二軒登り右に岐れる間道を二軒餘りで、望陽山(小樽毛無山)の頂上に達します。これから尾根を一軒近く行き、尙夏道に沿つて七一〇米の嶺を右に掴み、稍平坦を爲してゐる七六一米の山腹を直線的に約四軒進めば六五三米の鞍部に出ます。これから右に約半軒下ればヒュツテで、此處迄指導標があります。中學校から約十軒三時間半の行程で一般向の幹線コースであります。(降りは二時間半)
 - 二、小樽築港驛から、若竹小學校前の道路を通り其の儘前方に見える斜面を登ると、軍用道路に出ます。これを横切り二五四米の嶺を経て、望陽山に達し、一のコースと合します。望陽山迄は約五軒、二時間位(降りは四〇分位)であります。
- 收容人員二〇名、無番人、寝具炊事器があります。日歸二五錢、一泊五〇錢。



スキー

- 峠の小屋：(南小樽、朝里、鏡函驛下車) 小樽定山溪バス道路の最高地点六五〇米附近に在つて、朝里岳、余市岳の根據地を爲して居ります。
 - 一、南小樽、朝里驛からバス道路を通つて約二〇軒、六時間位(降りは四時間位)
 - 二、鏡函驛から春香山を経て、國境線に沿つて指導標を傳ふて達す。割合廣潤な樹林帯でありますから注意を要します。約一二軒、五時間半位。
- 收容人員一五名、番人、寝具、炊事具等あります。日歸二五錢、一泊五〇錢。

主なる山岳

- 丸山：(函館本線、鹽谷、小樽驛下車) 六九二米、半日の行程で、山岳スキーの練習に適して居ます。
- 一、鹽谷驛から、清水驛を通り、西北に走る尾根に取り付いて登ります。約三・五軒、二時間、降りは一時間足らずであります。
- 二、小樽驛からは、高等商業學校裏を伍助澤に出て軍用道路を横切り、於古發山を右に見て上ります。約五軒二時間半(降り一時間位)
- 三、前二者のコースを何れか一方から登り他の一方に降る面白いコースであります。
- 遠藤山：(小樽驛下車) 海拔七三五米で、高い山ではないが、比較的變化があつて、滑降距離が長いので喜ばれて居ります。
- 一、小樽驛から、高等商業學校前の地獄坂を登り軍用道路を横切つて、於古發の尾根傳ひに登るものと丸山の中腹を縫つて、北走する尾根を登るものとがあります。何れも一般向で七軒、四時間位で達します。降りは二時間あれば充分であるが、毛無山を経て關島に降ると、長い滑降が出来て面白いコースです。
- 天狗山：(小樽、南小樽驛下車) 標高五三二米で、市の背後に聳え、手近で割合變化に富んで居る爲、山岳スキー練習と、ピクニック的な山として、常に賑つて居ります。
- 驛から最上町を経て、法雷寺の右側、北から北東に彎曲して走る尾根を登つて、法雷寺から約三軒一時間半位で、降りは四〇分もあれば充分であります。
- 於古發山：(小樽、南小樽驛下車) 標高六二二米、天狗山と遠藤山の中間で、半日行程の山として喜ばれて居ります。
- 一、前記遠藤山前者のコースに依ります。約五軒、二時間半、降りは一時間餘りであります。

ぞ、御車まで御歸りを御願ひ致します。一發車

之から市役所の前を通つて小樽公園に御案内致します。

東山：此處は東山と申します。此の東山の頂上から當市の全貌が大觀せられます。前面のあの小山が先程の水天宮山で御座います。海波を隔て、遠く、石狩から天鹽、濱益、雄冬岬に至る連山を雲煙縹渺の間に望み、白帆が點々と、夕日に映えるあたりの絶景は、他に比肩するものが御座いません。石狩の歸帆などと古くから八景の一つに擬らへて居るもので御座います。

左は手宮公園で、あそここの崎を越しますと誰方も御存じの、情緒纏綿たる追分節で名高い忍路高島の高島村、夫れから忍路村になつて居ります。

へ忍路高島及びもないが

せめて歌葉磯谷まで

と申す所で御座います。右の方平磯岬を越しまして、波打ち洗ふ神威古潭の絶壁のもとを一路、汽車は札幌に参ります。

近頃、長い間の問題で御座いました札幌間の國道が完成致しまして、昭和九年六月から鐵道省で御經營の省營バスが運轉を開始致し

ました。其の他一般のタクシーやトラックもひつきりなしに往來して、此の兩都市の交通に至大の便宜を與へて居ります。

唯、冬期間積雪のために阻止される虞れがありますので、どんなにして之を征服すべきかとしきりに研究されて居ります。

小樽公園：此の樹は本道の山でなければ見られません白樺の樹で御座いますが、俗にガシビの樹とも申して居ります。御遠來の皆様には殊の外御珍しいこと、存じます。皆様が此の北海道に對して抱かれます憧憬れの中に必ずや、白樺の原始林の想ひ出が一つ御座いますこと、存じます。本道では少し深山に入りますと、到る處に此の樹の密林が御座います。眞夏の頃、林の中を縫ひ歩きながら涼しい風にそよぐ葉ずれの音を聞きます時、おのずと私共の诗情はそよぐられるので御座います。次に此處で一才當地在單に、本道有数の商業地でありますばかりでなく、藝術的にも如何に優れた土地で御座いますか、自慢話をさせて頂きます。明治末頃の有名なる情熱な詩人、石川啄木は嘗て當地に住んで居つたことが御座いました。其の折の歌に當地を酷評致しまして

悲しきは小樽の町よ歌ふこと

二、天狗山から尾根傳ひに登る、一般向コースで約二軒、一時間、歸りは三十分位であります。
 ○望陽山(小樽毛無山)：(南小樽驛、小樽築港驛下車) 標高五四八米であります。割合長い滑降路を有し練習に適して居ります。(コースは、朝里ヒユツテ参照)

○朝里岳：(南小樽、小樽築港、錢函驛下車) 海拔一二八〇米、針葉疎林の廣潤な長い尾根を持つて居り何れのコースを滑降しても壯快であります。頂上は無樹の上平坦に近い程廣潤でありますから吹雪の時ハコースを失ふことのない様に留意すべきであります。晴天には余市、白井岳が間近に見え、小樽港、石狩灣が美しく繪の様に見えます。

一、朝里ヒユツテからは、頂から北西に走つて居る子根に出てこれを傳ひ、一〇七九米の嶺起を経て頂上に達します。一般向で、約七軒、三時間。(降りは一時間位)

二、ヘルベチヤヒユツテ、白樺小屋からは、小樽定山溪ベス道路を通り、川を渡つてから一〇九七米の嶺起から東に延びてゐる尾根に登り、嶺起を越して達します。約六軒、三時間(降りは一時間半位)

三、峠の小屋からは國境線に沿ふて、針葉疎林の廣潤な斜面に登ります。約六軒、三時間半(降りは一時間半)

四、前記の外奥手稲山の家から、白樺小屋を経て登るものと銀嶺莊から峠の小屋を経て登るものとがあります。前者は四時間半、後者は五時間餘を要します。(降りは一時間)

○余市岳：(南小樽、錢函、定山溪下車) 海拔一四八八米、附近連山の最高峰で、ガツシリとした偉容は本州の二千四、五百米の高度を想はしめ、連山は脚下に伏し、秀麗な蝦夷富士も間近に迫つて眺望雄大であります。

一、朝里ヒユツテ、峠の小屋から、朝里岳を経て、廣漠とした高台を一直線に進み、一二八六米の嶺起を越して達します。約一二軒、五時間を要します。(降りは一時間)

二、ヘルベチヤ、白樺小屋からは、二途あつて、一は朝里



水ノ江瀧子と小林千代子嬢

なき人々の聲の荒さよ

など、詠つて居りますが、此の通りで御座いますと小樽の人達は皆四六時中、御金儲けにばかり働いて居り、ちつとも餘裕がない様にも御思ひになります。勿論商業都市として國際貿易市場に向つて絶へず躍進を續けつゝあります。當地のことで御座いますから、仲々忙しい土地には遊び御座いません。けれど、幼い時からあの雄大な日本海の荒浪を自然の子守唄と聞き、春は花霞引き、夏は深緑濃かに灼熱の苦しみを忘れ、更に更け行く紅楓に逝く秋を惜しみ、嚴寒冬の季節には雪中の時ならないウインタースポーツの華散らすなど、四季折々の變化に市中全体が公園の様な感じの致します詩的情緒溢れる此の土地に育まれました人々の中から現代我國で有名な藝術家達が澤山生れて居りますのは、何を物語つて居るもので御座います。

現に洋畫界の重鎮小寺健吉、長谷川昇、平澤大塚文壇の異才、岡田三郎、小林多喜二、小寺キクなどの諸氏又映畫、歌劇のスターとして皆様に御馴染の岡田嘉子、小林千代子、水の江瀧子などは、此の小樽が生み出した代表的な藝術家で御座います。又最近では先年松竹キネマとコロムビアレコード會社とが募

岳を經由するもの、他は白井岳の地面斜面を横切つて鞍部に出(白井岳を越るも可)一二九六米を経て登るものとあります。何れも約一軒であります。前者は五時間位、後者は稍困難でそれよりも一時間位多く見る必要があります。(降りは一時間)

三、長門ヒユツテからは背後の山稜を尾根傳ひに九八三米、一二六三米の嶺起を越えて登るのであります。約八軒、五時間餘を要します。(降りは一時間半位)

○白井岳：(南小樽、錢函驛下車) 海拔一三〇一米、頂上は無樹で、山岳氣分を味ふことが出来、其の滑降は、熟練者に取つて興味深いものであります。

一、ヘルベチヤヒユツテ、白樺ヒユツテから朝里岳と白井岳の中間から發する川の右岸上を遊行し頂上から北に走る標高尾根に取付いて達します。約六軒、三時間半。(降りは一時間半位)

二、朝里ヒユツテ、峠の小屋から、朝里岳を経て登るコースで、餘り用ひられてゐません。約一軒、約五時間。(降りは一時間位)

ニセコアンヌプリ附近

この地方は、北海道に於ても雪の名所で、豊かな積雪と素晴らしいパウダースノー、加ふるに温泉は至る所に點在し、之を縫ふ白銀の山脈は千米を越ゆるもの十餘座、何れも本州の二千五、六百米に比肩する山貌を有し、蝦夷富士に至つては三千米に匹敵します。而も山頂へは容易にスキーを許し、景觀又雄大の言に盡きます。誠に東洋のサンモリツツと讃えられる此の地方は、至る所スキー可ならざるはなき本道四大スキー場の一として、正しく萬人の享樂し得るスキーの理想郷であります。好期は十二月中旬から四月中旬迄、春雪を樂しむならば五月中旬迄出来来ます。



岡田嘉子嬢

集して全國四千万の女性の中か選らばれましたミスサクラ(小池政江)も當地が中央スタヂアムに送り出しました一人で御座います。私共に致しまして市内交通第一線を受持つてめまぐるしい日を送つては居りますが、唯今申上げました様な藝術の街の私達で御座いますから、水の江キキ、小林千代子にも劣らない藝術的情操は多分に持ち合せて居る積りで御座います。

將來、浦富士江(車掌自身の名)など、申す偉大な藝術家が又此の小樽から出まして我が國文化史上に一大エポックを劃さないものでも御座いませんと、秘かに自惚れて居る次第で御座います。どうぞ皆様、商港としての當地を御記憶下さい。と共に、藝術家の搖籃でも御座います。當地を此の際、はつきりと御認識下さい。ことを切に御願ひ致して置きます。

之れで東山からの説明を終りました。どうぞ御車に御召下さいませ。一發車—

スキー小樽：向ふの山高く見えますのは、高等商業學校で其の左手の櫓が高商のシャントエで其の下が私立商業學校で御座います。あの白く、帯の様に見えますのが高等商業學校への通學路で大變な急坂で御座いますので

主なる温泉及スキー練習場

○新見温泉：(函館本線蘭越驛下車) 驛から十一軒(スキーで往路四時間、歸路は二時間半)ニセコ連山の西に位し、目國內川に臨む海拔五五〇米の高地に在つて、附近は白樺と針葉樹林帯で至る所好スキープがあります。チセヌプリ、目國內、岩内岳、雷電岳への根拠地として便利であります。

(旅館) 新見温泉旅館

○昆布温泉：(函館本線昆布驛下車) 驛から七軒(スキー又は徒歩で往路二時間、歸路は一時間半)馬橋の便があります。(一時間半、五〇錢)ニセコ連峰の中央に位し、ニセコアンペツ川の溪畔にあつて連峰の銀嶺を間近に仰ぎ見ることが出来近くには高商スキー、大スキー(約一軒)と稱する廣大な斜面があり、何れも萬人向きの練習場であります。又ニセコアンペツ、岩雄登、チセヌプリの登山根拠地で、此の地方の中心をなし、交通も便利で各旅館には乾燥室が完備し、スキー客の取扱に馴れて居るから、合宿練習にも推稱し得る所でもあります。

(旅館) 青山不老閣、鯉川旅館、紅葉谷旅館

○湯本温泉：(函館本線昆布驛下車) 驛から十一軒(スキーで往路四時間、歸路三時間)チセヌプリの山麓、五五〇米の高所に在つて附近は白樺の美林で、變化あるスキーに富み熟達者向であります。チセヌプリは直後に攀え、これを越えてニセコ温泉、小澤驛、新見温泉等へ下ることが出来ます。

(旅館) 湯本温泉旅館

○ニセコ温泉：(昆布、狩太又は俱知安驛下車) 昆布驛から一三軒、狩太驛から一二軒、俱知安驛から一二軒、何れもスキーで往路約四時間、復路二時間半位であります。ニセコアンペツ連峰の心臓部に位し、八五〇米の高所に在つて、附近は既に樹林帯を抜け出て居るから、高山の大ゲレンデに抱かれて居るの感があります。ニセコアン、岩雄登、チセヌプリ等は短時間で登ることが出来る理想郷であります。

(旅館) 井上旅館、稲付旅館

○山田温泉：(函館本線比羅夫驛下車) 驛から四軒(スキーで往路一時間半、復路四十分)ニセコアンペツの山腹六〇〇米の高所に在つてニセコアンペツへの登行に最も都合がよく、附近に至る所スキープで熟達者の練習に適します。

(旅館) 山田旅館

○青山温泉(舊小川温泉)：(俱知安驛下車) 驛から約一二軒(スキーで往路約三時間半、歸路二時間)硫黄

川の上流に在つて、ニセコアンペツ、ワイスホルン、イワオヌプリの登山に便利で附近には練習場スキーも豊富であります。

(旅館) 青山温泉旅館

○大佛寺山スキー：(函館本線俱知安驛下車) 驛から一軒、萬人向のスキーで、休憩小屋、賣店、シャントエもあります。

○小澤スキー：(函館本線小澤驛下車) 驛から半軒、驛の両側にあつて、何れも廣潤な一般向の練習場であります。

主なる山岳

○目國內岳：(函館本線蘭越驛下車) この地方の西部に位し、海拔一二〇二米六、針潤湿滑の疎林は九〇〇米附近で盡き、烏帽子型となつて聳えてをります。その北東を除く他の三方は素晴らしい大ゲレンデであります。

一、新見温泉から夏道に沿つて峠(七五八米)に出、九八〇米八を擲んで鞍部から尾根を傳つて達します。一般向の幹線コースで、温泉から約五軒、二時間半、降りは一気に滑行して四、五十分かゝります。

二、岩内驛から笏山、岩内岳を経て登ります。約一軒、五時間、長距離の滑降が出来る爲主として一の場合の降りコースとして用ひられてゐます。熟達者向で約二時間半要します。

○チセヌプリ：(蘭越、昆布、狩太、俱知安驛下車) ニセコアンペツと共に、此の連山の代表的山岳で一一三四米五、山腹から白樺の疎林を裝ひ、尾根は豊かに延びて理想的斜面を形成し壯快な滑降を樂しむことが出来ます。

一、昆布温泉から高商スキーを登つて高臺に出小泉農場、熊本團體を経て標高尾根を行くと、左側の湯本温泉に達します。約五軒、二時間半。此處から標高尾根を約三軒、二時間で頂上に達します。一般向の幹線コースで最も興味深いものであります。降りには湯本温泉迄四〇分、昆布温泉へは更に一時間半。

二、ニセコ温泉からは北西の斜面を登り、一〇八二米の肩を乗り越し、一旦二〇〇米餘り下つて、鞍部から登ります。約六軒、二時間半、歸路は一時間半。

三、新見温泉からは峠(七五八米)に出て尾根を傳ふものと、温泉から直ぐ下の橋迄下り、それから對岸の尾根を登るものとあります。後者に依るもの多く、何れも約七軒、五時間を要します。降りには二時間

四、前記コースの外、一のコースを登り二のコースを経て更に昆布温泉へ滑降するもの、或はワイスホ

誰方がお附けになりましたものか、地獄坂と申して居ります。けれども山よりも高く峻はしい學問の道に向つて御進みになります學生さん達にとりましては、どんな急坂の地獄坂でも、取て物の數では御座いませんこと、存じます。そうして更に螢雪の功を積み、學成り遂げてあの學舎を去ります時は、地獄の様に御思ひになりましたあの坂も極樂坂となりますこと御座います。

唯今御覽に入りましたシャントエに就きましてスキーの御話をさせて頂きます。當地は御覽の通り坂路が多く、山や岡が近う御座いますので、スキーは北海道中で一番盛んで、近郊何處でもすべることが出来ます。冬が訪れますと子供達は雪の降るのを待ち焦れ寒さを忘れてスキーに出かけます。斯うして小さい子供の中から名スキーヤーとして芽生えが培はれて行くので御座います。

唯今スキー界のナンベ・ワンとして活躍して居りますスキーヤーは大抵當地の出身で御座います。スキーの聖地と申されて居ります南ドイツ(ガルミツシュ、バルチンキルヘン)で開催されました第四回國際オリンピックスキ大会に我が日本を代表して、北ヨーロッパ地方の雪の猛者達と一戦を交へました正選手、八人の中安達、龍田、宮島、伊黒、關口、關戸の六人は當地の雪の子で殊にジャンプ選手は全部小樽中學の出身で御座います。世界の槍舞臺に乗り出し、各國の強豪を向ふに廻して、聖戦を試みる私達の若い同胞の雄々しい姿を思ひ浮べます時、私の胸は躍らずに居られません。先程、公園の東山では藝術小樽の自慢話をさせて頂きましたが、澤山の藝術家を生み出した此の小樽は、一面スキー・スポーツ界にも亦大勢の國際選手を送り出して「スポーツ小樽」の名をほしいままに致して居るので御座います。

手宮古代文字：此處で御車から御降りをお願い致します。古代文字を御覽に入れます。降車後、御降りになりましたら、此處へ御集り下さいませ。

之が有名な古代文字で御座います、發見されましたのは今から七十年前程前(慶應二年)で御座いますが、三十年前頃までは此處が洞窟になつて居りましたので御座います。此の文字様の彫刻に就きましたは色々意見が圓はされましたが、大正二年には人類學の泰斗鳥居博士が來觀されて、古代のトルコ文字に酷似すると發表され、更に同七年には廣島高

ルンを経て小澤へ、又は青山温泉を経て俱知安へ出るのも面白いコースです。後二者は何れも四時間位であります。

○イワオヌプリ（昆布、狩太、俱知安驛下車） 海拔一一五四米、岷々たる高山の風貌を備へ、山麓一帯は素晴らしいゲレンデあります。

一、ニセコ温泉から背後の高臺に出、南西の火口壁を登ります。約二軒、一時間半、歸路は約四〇分。尙狩太驛、俱知安驛からでも、ニセコ温泉に出て、前記コースに依れば、一日で往復出来ます。

二、青山温泉からは、岩雄嶺山を経てニセコ温泉に通ずる夏道を行き、左に現はれる岩を廻りて西南の火口壁から登ります。約六軒、二時間半、歸路は約一時間。

三、湯本温泉から一〇八二米の肩を越し、一旦下つて、火口壁から登ります。約六軒、約三時間、歸路は一時間半。

○ニセコアンヌプリ（昆布、狩太、比羅夫、俱知安驛下車） 海拔一三〇八米五、この連山の最高峰で、各尾根は適度の斜面を爲して見事に延び、その滑降感に於ては、斷然他の追従を許さぬ本道代表的のスキー山岳であります。

一、昆布温泉から八三九米の山麓に出て、右手の大きく延びて居る尾根に取付いて登る一般向の幹線コースであります。約八軒、五時間、歸路は約二時間。

二、山田温泉からは、背後の谷状の急斜面を登り尾根を傳ふか或は右の谷に沿つて登る一般向の幹線コースで約四軒、二時間半、歸路は四〇分。比羅夫驛から登つても四時間位で、ニセコアンヌプリの登路としては最も近い距離であります。

三、狩太驛から尻別川を渡り曾我農場を経て南に走る標高尾根を登ります。約一〇軒、五時間、下りは二時間。

四、ニセコ温泉からは、ニセコアンヌプリの山麓に添ふて半軒餘り北上し、尾根に取り付いて登ります。約三軒、一時間半位、降りには四〇分位。

五、前記の外、俱知安から、山温泉青も登られます。又歸路は何れのコースに依つても愉快であります。

○ワイスホルン（函館本線小澤驛下車） 標高一〇四五米八、山容が歐洲のワイスホルンに似て居るのでこの名があまりですが、長い直滑降が出来るので喜ばれてゐます。

一、驛から北東向の練習スロープを登り、その尾根傳ひに達します。約八軒、四時間、降りは一時間半

二、ニセコ温泉から岩雄嶺山に出て大沼附近から尾根傳ひに登ります。約六軒、二時間半、歸路一時間半



小樽公園
スキー場

等師範の中日文學士（現大阪外語學校名譽教授）はツングース語（韃靼語）を古代トルコ語で讀破したと申しまして、

我は部下を率ひ
大海を渡り

聞ひ

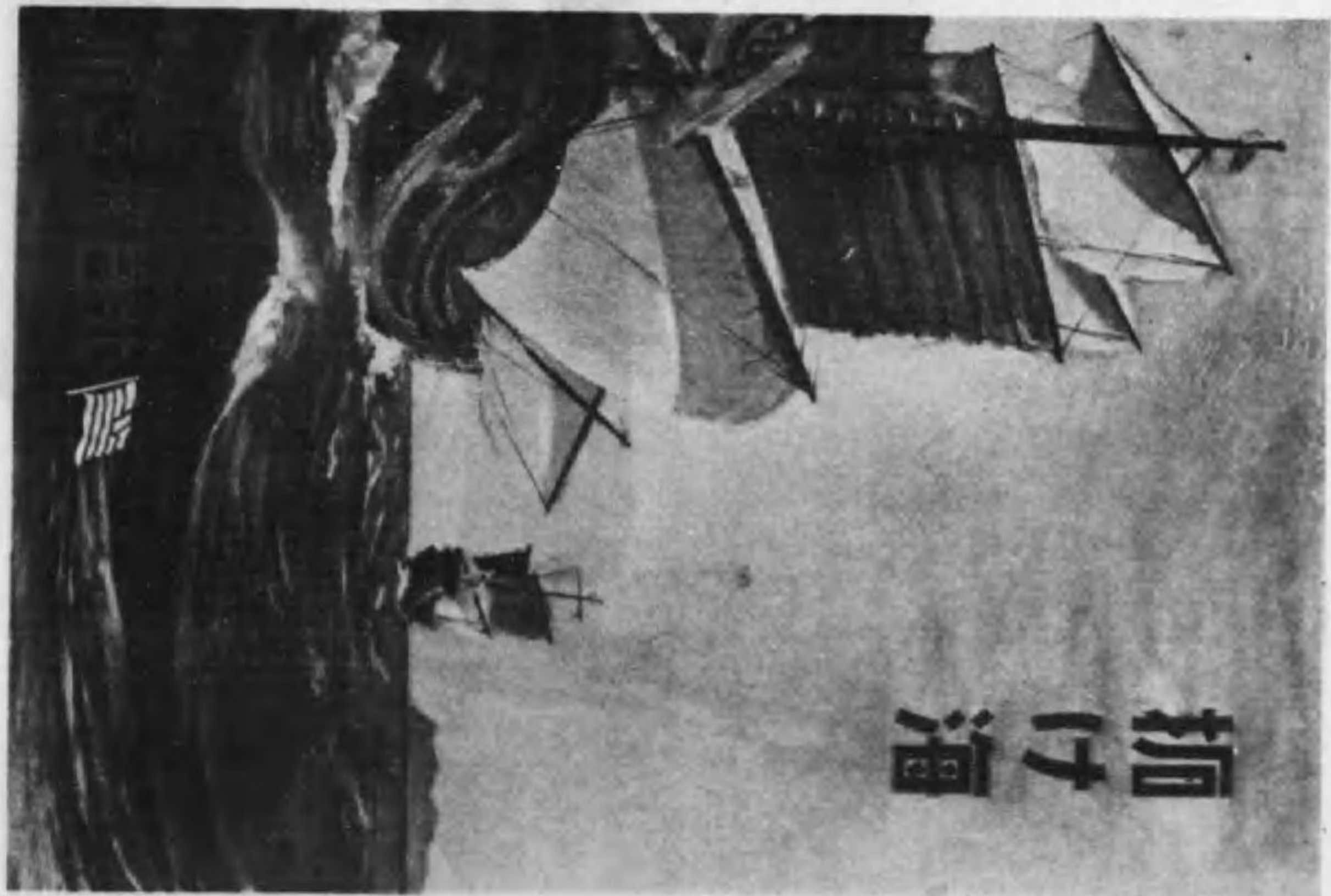
此の洞窟に入れり

と讀まれ、之を墓誌として發表致しましたので、當時の學界には大變なショック（衝動）を與へたもので御座いました。それから後、大正十年に至つて札幌の關場醫學博士が此の彫刻は開拓使御用係白野夏雲の部下の戯畫であると發表致しましたので、一般の話の種となり、甲論乙駁の論議で仲々賑かなもので御座いました。けれども何れともあれ、此の儘風雨に曝して置きますと、此の貴重な彫刻物も跡方もなくなり恐ろしが御座いますので大正十年三月（内務省告示第三八號）を以て史蹟名勝天然記念物保存法に依り（手宮公園内洞窟五十五坪八勺）内務大臣より史蹟として指定された次第で御座います。此の彫刻は人類學上から致しましたも、又考古學上から致しましたも大變珍重すべきものと何つて居りますが、一説にはアイヌ語の「イカシ、シロシ」即ちアイヌの家の印（我々の家紋の如



船汽本日本

昭和十一年新春米ヌク



船汽本日本

小樽市稻穂町西七丁目二番地

高級印刷

活版
石版
業

Ⓨ 光陽堂印刷所

電話 三七七八番
工場 山田町二十六番地
電話 四二四番

海産加工包装用
各種包装用

セロハン・硫酸紙・マニラボール紙

- ⑤ 玉子製紙株式会社
- ④ 日本紙業株式会社
- ③ 北越製紙株式会社
- ② 三菱製紙株式会社

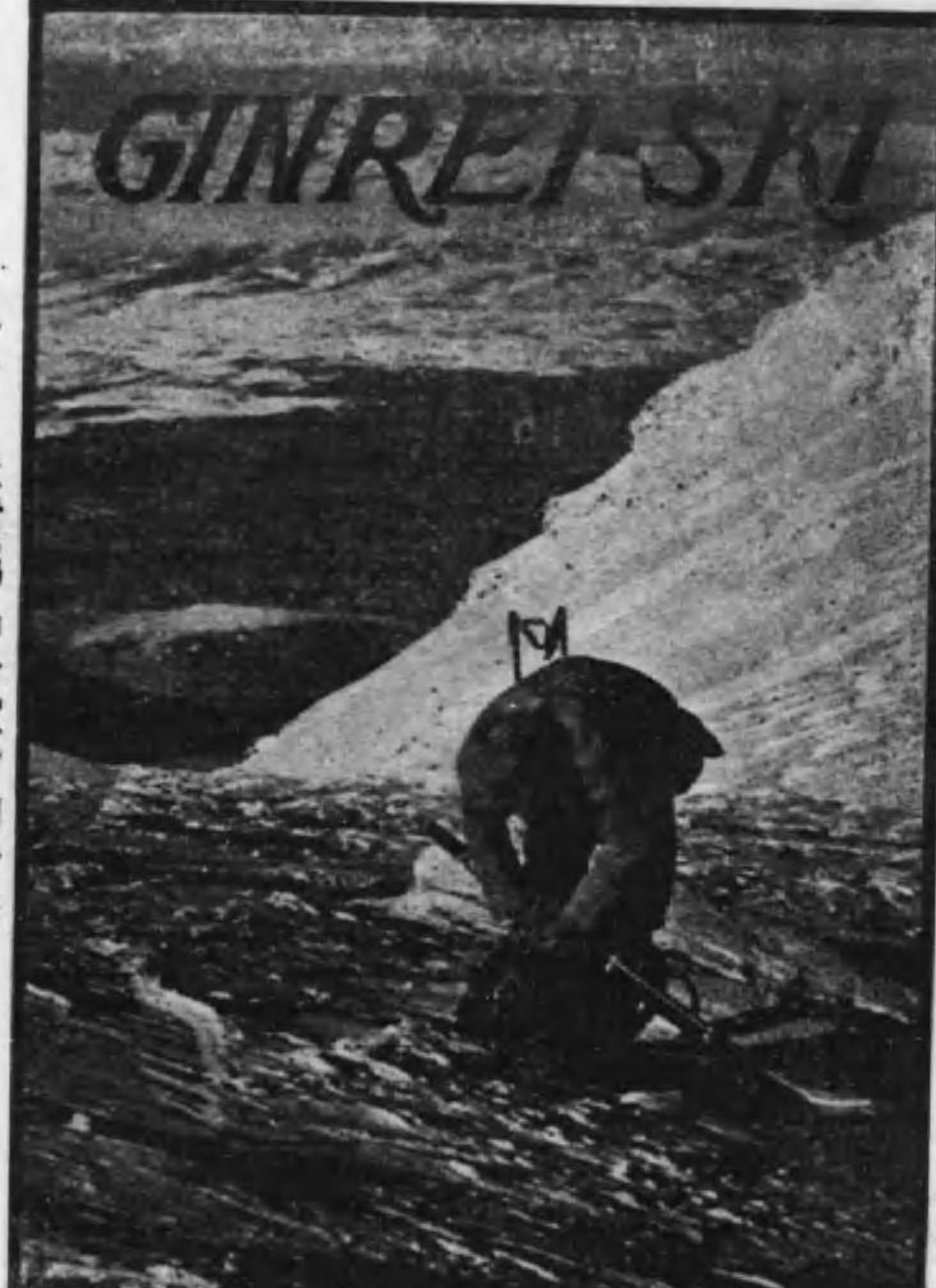
特約店

太

株式會社

藤井商店小樽支店

小樽市港町四拾番地
電話 六〇一番・三、三六〇番
振替貯金小樽四、七六五番



營業課目
 スキー及附屬品全般、柳行李
 旅行用靴、登山袋、ふとん入袋 製造卸業

銀嶺スキー
 官廳常用
 美 俣馬屋商店



札幌市豊平一丁目
 電話三六一四番
 振替小樽一三七五番
 受電登録「サツボロタジマヤ」
 發電略「タシマ」又ハ「タ」

日本郵船會社
 近海郵船會社
 北日本汽船會社
 三井物産船部
 大阪商船會社
 三菱鑛業所各購買會
 指定商

海産鮮魚
 委託問屋
 艦船糧食
 品御用達
 俣屋 高橋源次郎商店

北日本食品工業所製品一手販賣所
 小樽市錦町四五
 電話三九二番
 振替小樽九二三〇番
 電署(ツクタ)又ハ(ツ)

北海道汽船
 札幌日本汽船
 札幌鐵道信局
 指名工場

船具加工部
 天幕部
 運動用具部
 非常用具部
 卸商

齋田テント

齋田治三郎商店

各製綱會社 特約店
 各製綱會社
 本店 小樽市色内町四丁目六番地
 電話三二五七番
 支店 札幌駅前九一七番
 電話九二四三番
 振替小樽一二三五四番

全 販 聯

保證責任
 全國米穀販賣購買組合聯合會
 小樽販賣所

小樽市色内町四丁目十番地
 電話九八四番三七九番
 受信オタルコメハンレン
 電略(發信セ)又ハ(セ)



二階文具賣場

二階書籍雜誌賣場



一階洋品賣場

營業品目

- 内外實話雜誌類
- 文房具事務用品類
- 洋品雜貨化粧品類



札幌市停車場通

丸善株式會社
札幌支店

電話(代表)5110
振替水簿 10800

御旅行の節は是非御來店を

は物買お

札幌市隨一の展望臺



幌 札

越 三

SAPPORO GRAND HOTEL

御宿泊 (御食事別)

洋室 40室 ¥ 3.50ヨリ
和室 11室 ¥ 4.00ヨリ

觀光北海道の誇り
近代的大ホテル

御食事

定食朝食(洋・和) ¥ 1.00
晝餐(洋・和・中華) ¥ 1.50
晚餐(洋・和・中華) ¥ 2.00



グリル及バー……………1階
喫茶及ランチ……………地下
北京料理……………3階
國際料理……………3階
江戸前天ぷら……………6階
小料理なべ類……………6階
壽喜燒……………7階

御宴會

和・洋・中華料理共
500人位位御引受致します

札幌グランドホテル

札幌・北一・西四
電話 5001-5000

HOHEIKAN·HOHEIKAN·HOHEIKAN

幽遠典雅なり

- ・御商談に
 - ・御家族連に
 - 御利用の程を
- ※撞球場の設備あり



フランス料理

豊

杉山正次館
電話七六六・四五八八番

- 御昼餐 1.50
- 御晚餐 2.00
- 其他ランチ
及
逸品料理

- 一般御宴会
- 出張仕出し
- 結婚御披露は特に
御費用の最低を期し
内容は豊かにそして莊重に

HOHEIKAN·HOHEIKAN·HOHEIKAN

斬新なる傾向
卓越せる技術

小松寫真館

札幌市南四條西四丁目
電話三二五二番

全道に好評ある……札幌一の菓子舗
北海道趣味豊かな内地御土産品
北海道銘菓登録商標
原始林・お花畑・五味千秋羊羹・蝦夷吹雪・千秋餅



札幌市 千庵

停車場通り理小路前
階上喫茶室

電話 五六九二番
振替貯金 六一二六番
口座水橋 一三三七番

第七師團司令部指定
札幌鐵道局指定
ジャパンツーリストビューロー

札幌市北二條西四丁目一番地

M 旅館山形屋

電話

二〇〇二番
二〇〇二番
二〇〇二番

湖 周 摩



道 海 北
俗 風 ヌ イ 丁

トツセフオ・版石・版活
刷印術美種各・版頁寫
物 行 刊 期 定
幀 裝 簿 帳 諸

幌都唯一の設備と★
卓越せる技術を誇る



工 場

所 刷 印 井 金

其 水 堂

目 丁 五 西 條 二 南 市 幌 札
番 五 五 四 三 ・ 一 〇 七 一 話 電
番 五 十 六 梅 小 替 振



部 署 管

飛躍の札幌
輝く社交陣

白亜荘 千一八五七
開陽 千一七〇三
ガルボ 千一八五五
原始林 千二四八八
金の星 千二四二五
銀嶺 千二二八八

札幌力ア工一共和会

登山計畫案（以下は旭川を起點とした登山計畫案であります）

第一 上川口より旭岳（二日間）

- 一日 旭川—上川—層雲峽温泉—黒岳—雲ノ平石室
- 二日 石室（早朝）—北嶺岳—旭岳—北海岳—雲ノ平石室—黒岳—層雲峽温泉—上川—旭川

第二 松山口より大雪山縦走（三日間）

- 一日 旭川—東川—松山温泉
- 二日 松山温泉—旭岳—北嶺岳—雲ノ平石室
- 三日 雲ノ平石室—黒岳—層雲峽温泉—（層雲峽大函探勝）—上川—旭川

第三 上川口より大雪山縦走（三日間）

- 一日 旭川—上川—層雲峽温泉—黒岳—雲ノ平石室
- 二日 雲ノ平石室—北嶺岳—旭岳—松山温泉
- 三日 松山温泉—東川—旭川

第四 直井口より黒岳（三日間）

- 一日 旭川—安足間—直井温泉
- 二日 直井温泉—北嶺岳—雲ノ平石室—黒岳—層雲峽温泉
- 三日 層雲峽温泉—大函—層雲峽温泉—上川—旭川

第五 松山口より大雪山峰廻り（四日間）

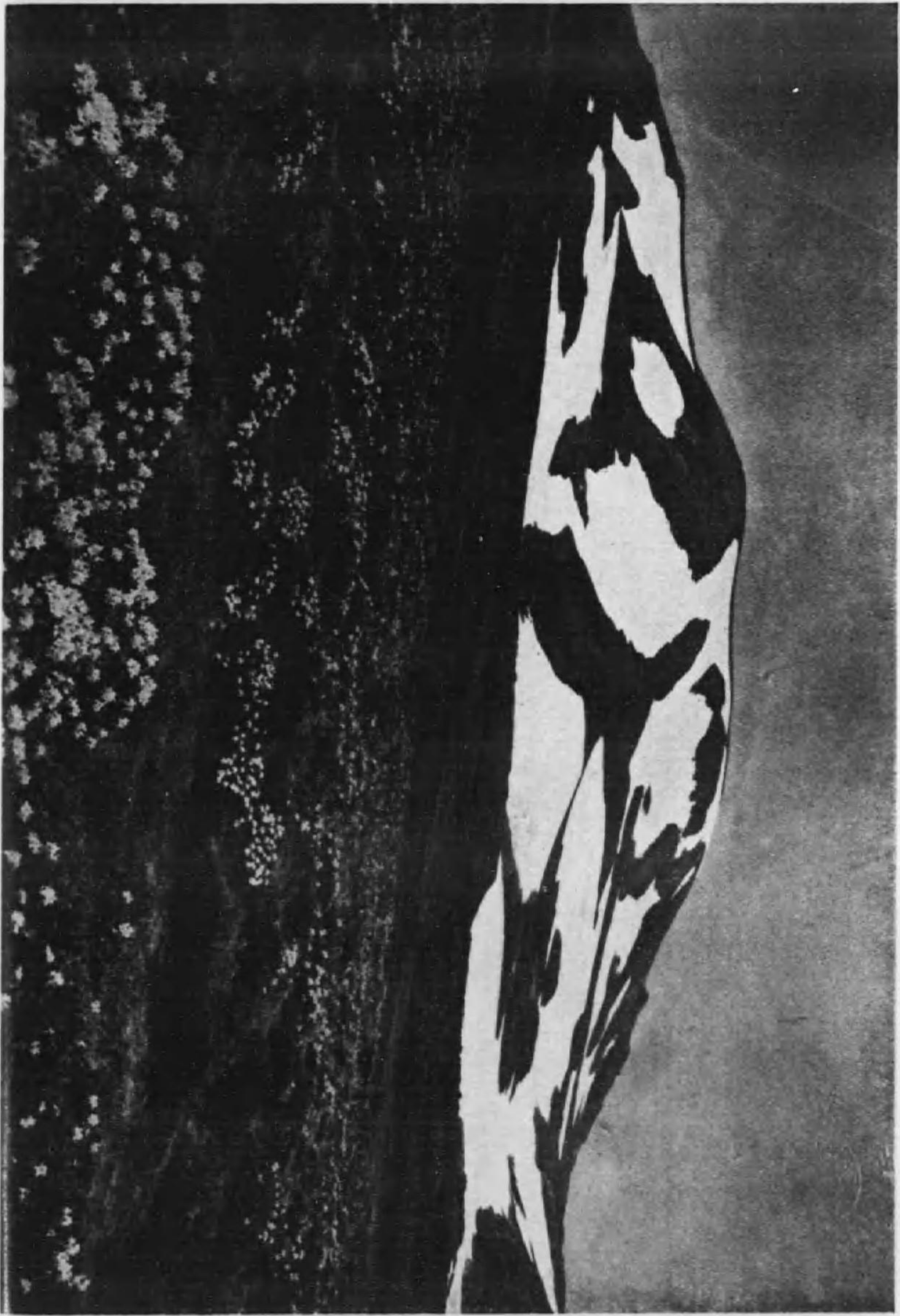
- 一日 旭川—東川—松山温泉
- 二日 松山温泉—旭岳—北嶺岳—雲ノ平石室
- 三日 雲ノ平石室—北海岳—白雲岳—北海岳—雲ノ平石室—黒岳—層雲峽温泉
- 四日 層雲峽温泉（層雲峽大函探勝）—上川—旭川

第六 松山口より大雪山廻り（五日間）

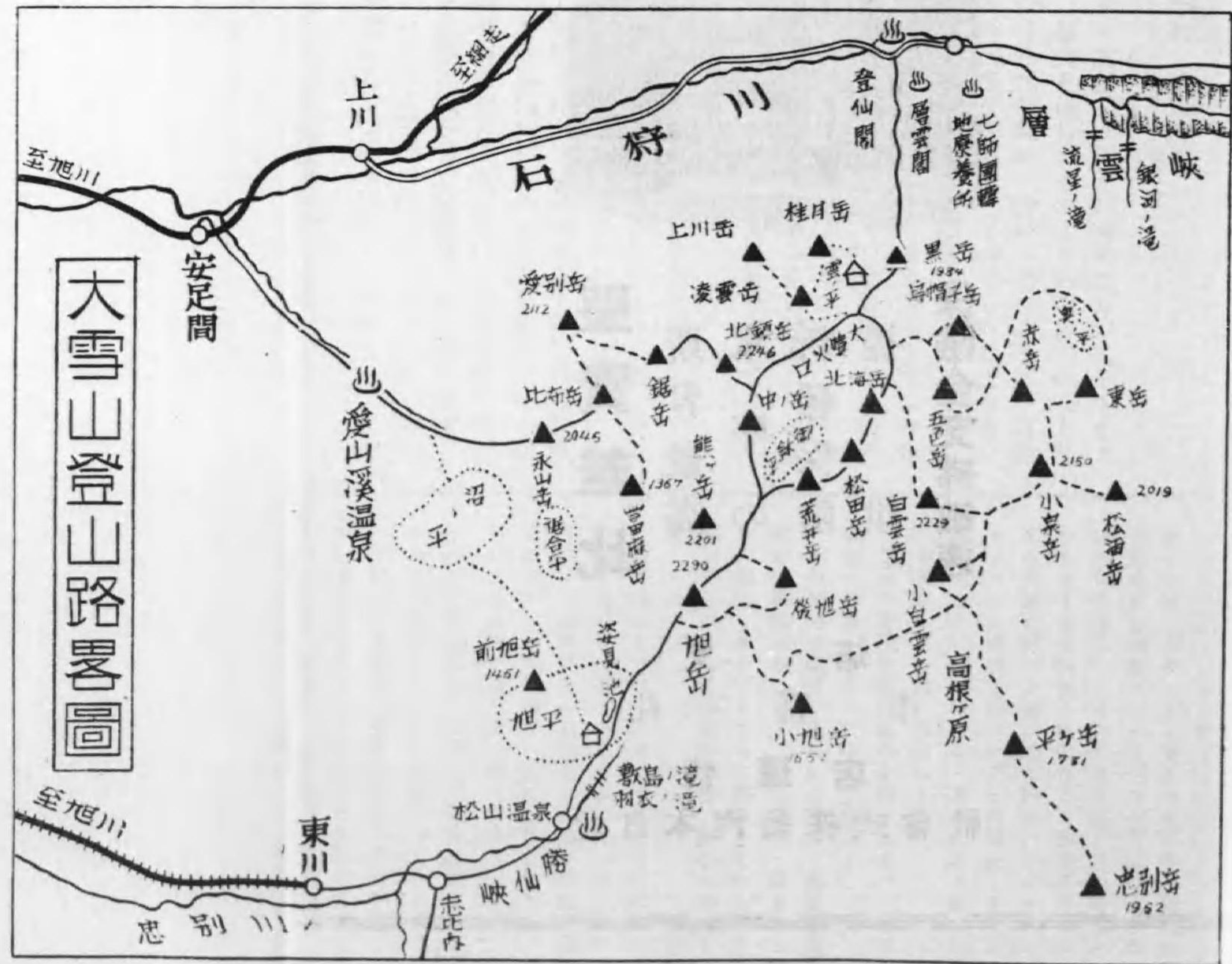
- 一日、二日は第四と同じ
- 三日 雲ノ平石室—北嶺岳—比布岳（此處から永山岳と愛別岳へ往復する）—北嶺岳—凌雲岳—雲ノ平石室
- 四日 雲ノ平石室—北海岳—白雲岳—赤岳—烏帽子岳—雲ノ平石室
- 五日 雲ノ平石室—黒岳—層雲峽温泉（層雲峽大函探勝）—上川—旭川

尙忠別岳方面迄探るには更に一日を要し露營の準備が必要であります。即ち四日以降を次の如く變更します。

- 四日 石室—北海岳—白雲岳—忠別岳—平ヶ岳附近（露營）
- 五日 露營地—白雲岳—赤岳—烏帽子岳—雲ノ平石室
- 六日 雲ノ平石室—黒岳—層雲峽温泉（層雲峽大函探勝）—上川—旭川



大雪山の花畑





仁壽生命

明治二十七年創立



堅實無比

斯界最高

水準の

新種保險

提供

保險金支拂敏速

支店 札幌市

代理店

北日本汽船株式會社

B

北海道の概況

緯度上の北海道はフランス、イタリー、アメリカ北部、カナダの南部に當つてをります。その面積は約九萬八千四百八十平方軒で九州、四國、臺灣を併したのより約四百二十八平方軒も大きいのです。その沿岸五千四百二十軒の海は全日本水産額の三分の一を占め年産一億餘圓を上げ、世界三大漁場の一つであります。即ち春の鯨漁を序曲として奏でられる北海道の漁業行進曲は夏の昆布刈から秋、冬の鮭漁へと最も盛んに最も賑かに繰返へされてゐるのであります。又陸は曠野沃野遠く連つて農牧適地三百萬町歩と云はれ、その中既開墾地は四分の一で、残る四分の三は將來を約して開墾されるのを待つてゐるのです。北海道は寒い國だと言ふけれども、そこでは元來熱帯性の植物たる稻がドシ／＼栽培され水田面積十三萬町歩の年産二百五十萬石に上つてゐます。それに内地に見られない牧草地の多い關係から北海道の産馬の額と牛乳の生産額が共に全國第一位にあつて、恰も我國畜産界を牛耳つてゐるかの如き感があります。

それから鬱々蒼々たる大森林は全道の六割七分を占め、その中にはロツキヤやヒマラヤの巨木を彷彿せしめる樹幹の大きいものが多く北海材として一般に重用されてをります。更に埋藏無盡の鑛床からは石炭、金銀、硫黄などが主として採掘され、鑛業の北海道を盛んにしてゐます。中でも石炭は現在よりも將來により多く囑望され、老齡に傾きつゝある内地炭田に代り、やがては全國の石炭鑛の中心を占むるものと見られてゐるほどであります。斯くの如く北海道は海に陸に到る處豊富なる天然物産に恵まれてをります。従つて北海道は陸物、海物を原料とする工業や日本全國の需要を充すべき化學工業の發達を期待され、現に製紙、製鐵の工場は東洋に誇るべきものがあります。殊に燃料や水利動力供給の要素が極めて潤澤でありますので、石炭の増産と共に將來日本工業の運命を擔ひ世界的の大工業地として發展することは疑はないところであります。

きもの)だらうとの説も可成有力ださうで御座います。何れに致しましても、唯、彫刻の外見丈を御覽になりましたのでは、或ひは御失望なさるかとも存じますが、其の背景となります先住民の傳説などを御考察下され又近郊蘭島村の土場の澤に御座いますストーンサークル(環狀石籬)などと對照致しますと何處となく、向ひ岸、シベリヤ方面大陸の匂ひが漂ふて居る様に思はれます。

之れで古代文字の説明を終ります。どうぞ御車に御召し下さいませ。—發車—

オタモ子地蔵尊：之れから有名な御賜惠地藏尊へ御案内致します。大分郊外へ参りまして、御話し申上げるとも御座いませんから御退屈しにぎに北海道の名物、鯨漁の御話を致します。

鯨の獲れますのは三月半ばから四月末までの短い期間では御座いますが、其の盛時になりますと忍路高島から朝里、張碓の附近、遠くは厚田、増毛の海岸一面に網が立ちます。けれども「鯨は暴風雨に乗つて来る」と申しますが、漁期に入りますと大荒れに襲はれて多數の犠牲者を出すことが間々御座います。是れに引き換へ、豊漁の時には色とり／＼の大漁旗を春風になびかせて、盛に沖揚げを

わが北海道の氣候は緯度が北に偏してゐる丈概して寒冷で、又内地とは氣候の趣きが餘程變つてゐるから北海道ではその氣候によつて産物は素より土地利用の方法が異つてゐることは言ふまでもありません。例へば東海岸地方は牧地、工業地で、中央部は米、西海岸地方は果樹、蔬菜栽培地であります。又海に於ても東海岸の沿岸は寒流の關係で鰯が獲れ、一步沖に至れば暖流の關係で鮪、鯉が捕れるといふ有様であります。だが氣候の寒冷であるといふことや、内地と趣きの變つてゐるといふことは決して不順であるといふことにならぬは勿論です。それは住民の健康と農産、畜産業の大いに振ひつゝあるのを見ても明かです。尠くとも北海道と本州との間には約三百五十米も深い、そして二十料以上の幅を有する津輕海峡があるので、それが爲めその歴史とその自然とに於て北海道と内地と趣きの異つた點のあることは寧ろ理の當然と言はなければなりません。

小樽市主催 北海道大博覽會

本博は廣く内外産業貿易の現状を公示し將來に資せんとするものであります。大北海道の眞の姿を紹介せんとする北海道館、既往七十年開拓創業當初の大抱負と本邦移民國策に範を垂るゝ拓殖館、全國府縣の國産品、發明研究、特許品を納むる産業館、日本の誇り正義の戦器に輝く非常時日本の護りを具現する國防館、科學と機械工業の粹を飾る近代科學館等で資源的價値産業的特色と國防の意義を闡明にせんとするものであります。海岸會場に設くる海洋館は從來の水族館とは全くその趣向を異にし、北洋魚族生棲を其の儘に、水産王國北海道にあらざれば到底観ることの出来ぬ大規模のものであります。

北海道館「伸び行く日本の寶庫」海に陸に無盡の資源を蔵する我が北海道に明治の初年開拓使館を設け、遠大なる理想を樹て開拓を始めて以來年齒爰に七十、北海道民の誇みなき忍苦健闘の歩みは洵に目覺ましいものがあります。學術の上にも、そして産業交通貿易の發達、文化の華は燦然として北方

に輝いてゐます。本館は本道に成長した各種産業の全貌を闡明してゐます。

産業館「世界市場に壓倒的聲價を謳はるゝ我が國産品」東洋藝術に流れを汲み傳統と名産を誇る我が國各種産業文化の所産品は、更に西歐學藝を融合し模倣から創作へと伸展し、今や斷然世界市場に躍動を續けてゐます。本館は各府縣が其の優秀品を網羅し其の粹を競つて居ります。

拓殖館「北海道開拓の眞相を描く拓殖館」蝦夷松前と呼ばれた頃の北海道は到る處鬱蒼たる森林地帯で畫猶熊羆の横行に任せましたが、明治維新の宏謀成り拓地殖民の方策樹立し雄大なる抱負經綸に則り、着々其の實現を觀、今や人口三百餘萬、生産五億四千餘萬圓を算するに至りました。然し其の地積の廣袤と資源の豊富、餘裕綽々たるもので眞の北門の寶庫たるの名を辱しめぬ、雄大なる拓殖の計畫と其の實相を本館にて紹介してゐます。

近代科學館「我が國學術の進歩と工藝技術の精巧さは斷然世界に輝いてゐる」世界市場に我が國製品が如何に其の聲價を恣まゝにしてゐるか蓋し想像外であります。深遠なる學理の解説は勿論近代科學に基礎を置く各種機械類を多數蒐集展示してあります。

國防館「近代科學戰の脅威に備ふる非常時日本の護り」これぞ國民の腦裡を往來し須臾も忘るべからざる重大事であつて兵器に關する知識は就後國民の是非とも知つて置かねばならぬ事柄であります。此等世界に誇る皇國陸軍の精銳と大海軍の堂々たる偉容とを具體的に表現されてゐます。

滿洲國館「友邦新興の大滿洲國」産業教育交通狀況から風俗に至るまで、苟も日滿親善に資する資料を充分に表現し將來大陸に雄飛せんとする人の參考館であります。

朝鮮館「龍宮城を、さながら陸上に築いたやうな華麗な朝鮮館」で歴史的に地理的に關係深い、半島文化と情緒を遺憾なく味はふことが出来ます。

臺灣館「常夏の地、バナナ、ココアの味覺だけでも觀覽者に吸ひ込まれさうな臺灣館」此處に新殖民としての伸展振りや、熱帯植物と臺灣の人々の生活様式などが遺憾なく展開されてゐます。

交通觀光館「交通機關の整備は我が國の誇りの一つである」アナウンサーの聲も電波に乗つて山も河も海も飛行機で一と飛びに寢臺車で夢のうちに……鐵道、船舶、自動車、道路、港灣、電信、電話等一切の交通々信機關の狀況を本館で知ることが出来ます。

「鐵道省、國際觀光局が児童となつて宣傳せんとする觀光館」本道の自然美は山も河も海も全く雄大にして幽邃世界的禮讚に値するものがあります。國立公園大雪山系一帯の地莊嚴と神祕を極め、深峽

致すので御座います。忙しげに行き交ふ人々に、波に戯れる鷗さへ嬉しさうな濱の情景はさながら凱旋の勇士を迎へる様な賑はいで御座います。

大勢のヤン衆達が聲を揃へて勇しい大漁唄を唄ひながら濱に、歸つて参りますと其の夜は銀鱗の山を圍んで、大盤振舞に夜の更けるの知らない豪盛さで御座います。

昭和十年の總漁獲高は約二十七萬石御座いました。身欠鰯や數の子に精製されて食料品となります外、油や粕は肥料となり、其の大部分は内地方面に移出されて居るので御座います。

之れで鰯の御話を終ります。

間もなく御地蔵様に参ります。

いよ／＼御賜惠に参りました。此處で御車から御降り下さいまして、あの坂上まで御歩き下さいませ。――徒歩にて坂上へ――

御堂は此の下に御座います。此處からは一寸御覽になりかねます。御地蔵様の御利益は此の様な険しい坂路を上り下り致すので、あるのさうで御座います。御子様のない御方には御子様が出来、御乳の出ない御方には御乳が出る様になると申されて居ります。又縁結びの御靈驗もあらたかと承つて居ります

皆様の中にはもう御縁結びの方又は御濟みの方も御座います。物がたためし、願ひ事は何でも叶ひます。

尙、此處で極く簡単に御地蔵様の由來を御話させて頂きます。

今から三百五十年ばかり前、元祿年間には蝦夷松前藩の掟として、和人は男女共奥地と申しまして此の先の神威岬から奥へ入ることを禁じて居りましたが、殊に婦人が此の掟に叛いて神聖な御神威様の崎を越しますと忽ち海神の怒りに觸れて、舟が覆へると申し傳へられて居りました。所が嘉永元年（約九十年前）夏、或る朝のこと御座いました。それは一晩中荒れ狂つた嵐も鎮つて、海面は油を流した様な静かな朝で御座いました。此の海岸に可哀さうにも身重の婦人の死体が打ち揚げられました。そうして其の身体から乳汁が流れ出て居りましたので御座いました。それで當時此の附近の場所請負人で御座いました西川徳兵衛さんと申す方が不慙に思はれて、丁寧に葬り其の供養の爲めに御地蔵様を御建てになりました。

夫れが此の御賜惠地蔵尊の御本体で御座います。

其の後に鹽谷村の金澤さんと申す方の内儀



完備せる工場+輝之技術

眞製版と美術印刷
中西眞製版印刷所

札幌市大通西五丁目
電話一九四七番・三一九一番
振替小標一四七一八番

碧淵の層雲峽を配して我が國の代表的山岳風景と稱せられ、更に阿寒國立公園に至りては釧路北見の兩國に跨り、雄阿寒・雌阿寒を主峰とする活火山を繞つて、阿寒・屈斜路・摩周等大小幾多の湖沼は其の火山原湖に紺碧の水を湛へて四周の山岳の怪奇な姿を寫し眠るが如き静寂さは他に類例を見ざる景勝地で一見靈氣身に迫るものがあります。

教育館：本道開拓史上精神文化の基礎を築いた史料を蒐集し、更に我が國教育の今昔沿革の概要及各種教育施設を網羅してゐます。

樺太館：「新版圖の樺太館」我が小樽とは最も關係の深い、樺太では本博を我がごとの様に力癪を入れ大馬力で樺太全島の紹介に努めてゐます。南の臺灣、北の樺太、居ながら全國を比較研究が出来ると譯で事業家は是非觀て置くべき館であります。

專賣館：「專賣局指導の特設館」煙草と鹽の製造全工程を本館に公開演演するもので、北海道では容易に觀ることの出来ぬもので誠に好機會であり興味深きものであります。

佛教館：釋尊垂教以來世界の人心を支配し、其の歸向を教示せる佛教の歴史的發展や、平素は容易に拜觀を許されぬ各宗の寶物を一堂に收めてゐます。一生一代の好機會何を措いても拜觀すべきものであります。

衛生館「健康第一を目指す衛生館」老も若きも、誰人も知らんとする保健と大老長壽の秘法説明抜きにして知得出来るのがこの衛生館で人生最上の幸福を需むる人は必ず見逃すべからざる材料が山積されてゐます。

海洋館：「海岸會場を飾る唯一の殿堂」水産王國を誇る北海道の漁業は言ふまでもなく、特に近時世の注目の的となつた水産界の生命線北洋漁業の活況と將來等、海の幸、驚異な海の怪物など盛澤山に陳列してゐます。

大演藝場：「埠頭尖端を飾る大演藝場」此處は納涼の最適地恰かも浮島に遊ぶが如く、奇想天外の珍藝奇術から、優雅な古典的な日本藝道の粋を觀らるゝ一大歡樂地であります。

以上を主館とし之に各府縣の名産品即賣館や協賛會の主催する各種演藝館等の設立も多く、將に本道開拓以來の大規模の大博覽會で北方文化の現状を知らんとするには逸すべからざる好機會であります。

さんが乳不足で大變困つて居りましたが、或る夜此の御地蔵様の御告げが御座いましたので、一心に祈願をこめました所、御靈驗が御座りまして、お乳が出立派に御座います。それを育て上げたお申す御話に御座いました。それが評判となりまして、一年中、雪の中でも雨の日でも參詣人が絶えなことが御座いまして云ふ繁昌を致して居ります。殊に六月廿四日には年一度の大縁日と申すので、とりわけお詣りの方々で雜閑致します。

彼方に見えますのは、龍宮閣と申します。之は小樽の料理店蛇の目の經營で、此の邊一帶十二萬坪を選んで、御賜惠遊園地として、色々計画して居られます。此の邊は所々に鑛泉が湧いて居りますし、加へて此の絶景で御座いますので、當地の代表的な名所となつて居ります。

昔は此の附近の海面にかけて、時々嵐氣樓が現はれたものださうで御座います。松浦武四郎さんの高島日記には「高島のおばけ」と記して御座いまして有名で御座います。では坂を下りて御詣り致します。

—小樽市街自動車株式會社觀光バス車掌 浦富士江嬢説明—

美術高級印刷所
共榮社印刷所

札幌市南一条西五丁目
電話 四七五六番
振替 二八四〇二番

和洋諸帳簿
野線一式
美術製本
記念寫真帳
及アルバム製作

石川製本所

札幌市南一条西五丁目三番地
電話 一〇六二番
電 零(イ)又ハ(イシ)
振替口座小樽二一七四六番

高級美派印刷

陽明堂印刷所

札幌市南一条西一丁目
電話 (六六六七番)
振替小樽(六六七番)

旅ハクーポン

札幌市時計台前
惣 佐々木旅館

第七師團、通信省指定
鐵道、郵便局指定
フリーポストビュロー
クリーポントビュロー
取扱
茶代は堅く御辭退

電話※ 157
940
941



増築落成

札幌鐵道局指定

札幌市北一条西五丁目(驛ヨリ約四丁)

阿部旅館

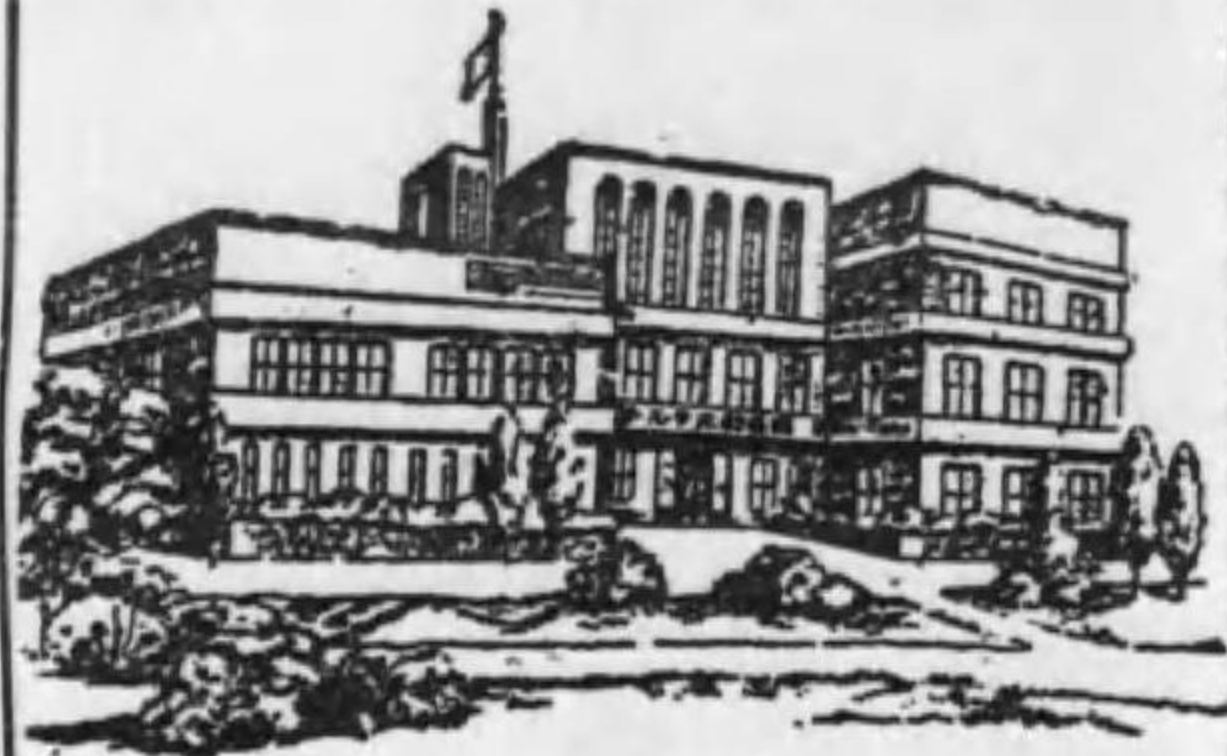
電話※ 一三三
三二一〇八番



割烹 日勝亭

佐藤初代

北海道留萌港
電話二八番



札幌市南大通西四丁目
精養軒ホテル
電話一五三八番

御宿泊 (御食車別)
洋室 ¥1.50ヨリ
和室 ¥2.00ヨリ

御食事
定食 朝食(和・洋) ¥.80
 昼餐(洋・和・中華) ¥1.20
 晚餐(洋・和・中華) ¥1.50

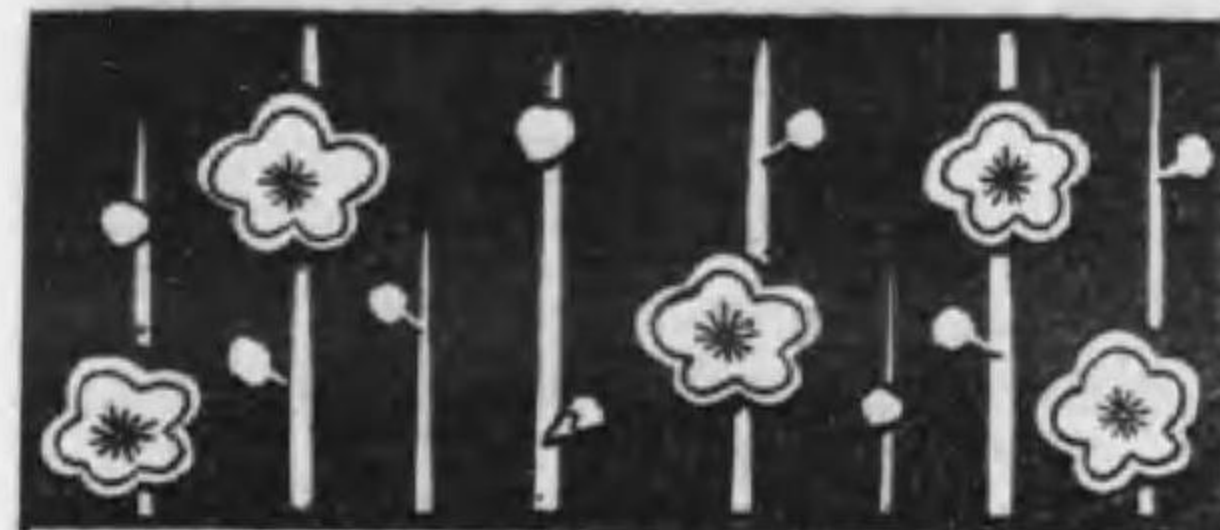
御宴会
和・洋・中華料理共精々御勉強の上御引受します

広吉園 宰飾 鳥織園
エアースラッシュ 寫真 傷整
ヨシダ園 宰社
サッポロ南七西五

三菱商事株式会社
磐城セメント特約店
北海道留萌町

和洋銅鐵
度量衡器
セメント
硝子各種

電話一五三番
電略「ニミヤ」又「ハニ」
振替水筒一七三番



一番よい酒

千歳鶴

札幌市日本清酒株式会社



いつも居心地のよい
札幌の旅館

敷島屋

北海道札幌市西三丁目
電話五〇八〇
五〇八一
五〇八二

昭和炭



明治鑛業
株式會社

留萌支店

北海道留萌町

出張所	本社
博多	戸畑
門司	留萌
神戶	東京
平壤	大阪
若松	京都
大塚	昭
東	九
東	北海道
赤	昭
明	和
高	稼業炭礦
安	北海
沙里院	道
明治西安	州
	昭

割烹 魚びす家

北海道留萌港
電話二二三番
小原富次郎

カフェー タツミ會館

北海道留萌港十字街
電話二五三番
居島末松

一船般
船代海
倉庫代運
倉庫取
船車運
保險代
保車代
險車代

株式會社 村田回漕店

社長 堀對馬 太
專務取締役 堀對馬 太
營業主任 堀對馬 太
留萌港南岸壁

(所屬經營姉妹會社)
船般
船內仲仕
一般勞力請負
通船業

株式會社 留萌船組

所有船十一隻八百六十噸
通船六隻 曳船二隻
社長 堀對馬 太
專務取締役 堀對馬 太
現業主任 堀對馬 太



和洋雜貨 諸產物 海味 乾物 鮮魚 製冰 飲料 木炭 水果 物品 水產

北日本汽船株式會社御用達
艦船糧食品御用達

奔武藤商店
店主 武藤忠治
北海道留萌港南岸ノ上
電話 三四五番
振替水樽一五四〇二番

選鐵諸 七道信 官師衛 國省指 定
(一般商人ノ方ハ 特ニ御優待申上候)

留萌ホテル

北海道留萌港
電話 二七五番
(南岸壁ヨリ約二丁)



株式會社 **増毛運送社**

鐵道部 電話 六四四番
回漕部 電話 五五五番

北海道増毛驛前

割烹花

旭川市三條通七丁目

電話 二四四番

支店 **花月園**

旭川市常盤公園

電話 三一〇九番

自宅 **渡部重太郎**

旭川市四條通五丁目
電話 二一七八番

藤屋旅館

旭川市驛前

電話 二七九番



青森市街 室蘭港

青森室蘭連絡線

本線は北海道交通の要衝青森と北海道東海岸第一の要港室蘭とを連絡する通信省命令航路で夏冬を通じ、毎日一回宛兩地を發航して居ります。内地より室蘭、苫小牧、札幌、夕張、日高、浦河、岩見澤、旭川等北海道奥地へ、又逆に之等各地より内地へ至る最短最捷路で、又鐵道省其の他各運輸機關と協定し船車連帶運輸も開始して居りますから全國各驛で通し切符の發賣や連絡貨物の取扱を致します。御利用の際は必ず「北日本汽船經由」と御指定になりませんと迂回線となり御損のいく場合が有ります。尙就航船豐原丸は五月より鈴谷丸（八九七噸、速力一二哩、定員一〇人、二等四六人、三等一八七人）と交代致します。

内地北海道連絡航路

三國丸 總噸數 九八六噸・重量噸數 一、一八三噸・速力 一二哩
船客定員 一等四人・二等二〇人・三等七六人
豐原丸 總噸數 八〇五噸・重量噸數 一、二四七噸・速力 一二哩
船客定員 一等六人・二等一二人・三等一三四人

青森室蘭連絡線定期表

青森發	室蘭發	室蘭着	青森着
毎日 午後五時四〇分	毎日 午後五時四〇分	毎翌日 午前五時〇〇分	毎翌日 午前五時一〇分

青森室蘭連絡線船客運賃表

一等 六〇〇
二等 三、六〇（食費を含まず）
三等 二、四〇



小樽市堺町九十番地（妙見川通り）

齒科 長谷川齒科醫院

院長 齒科醫學士 長谷川 修
電話 二一五八番

ほねつき専門

淺島整骨診療院

入院往診諾
小樽市手宮驛前
電話 三四九番

北日本汽船株式會社御用達

小樽市色内町大通り

附印 長尾印房

蛇川英太郎

力夕通呈

電話 一六四一番
番水 九六一番

北海みやげ

分店 藤本食料品店

電話 街座銀樽小

小樽市稻穂町東七丁目（色内驛上横）

明治眼科病院

電話 一二八一番

手拭美人

津軽地方(弘前市附近)から北海道にかけて
汽車の窓から両側に廣々とうち展けます田圃
を見渡すと、そこに働いて居る婦人達が、赤
黄紫白等の頬冠りをしてゐるのが目を惹きま
す。この頬冠りは姉さんかむりといふやうな
粹なものでなく頭から首の根っこまですつぽ
りと冠つて、その餘りを両肩から背の方へ少
々垂れてゐます。車窓からの眺めはどちらか
といへば荒涼たるもの、多いこの地方で、こ
の色彩だけが華かに右往左往します。このあ
たりは酷寒のついでところだから婦人でも容
子ばかりを作つては居られぬので遠慮會釋も
なくがつちりと男のするやうな頬冠りをする
のですが、流石は女で頬冠り用の布だけは原
色の強烈なものをつかひます。然し心を惹
かれるやうな風情のあるものではありませ
ん。
その色別は處女は赤、若い主婦は紫、年増は
黄、老人は白といふ風に未婚、既婚、年齢等
により色のつかひわけは定つてゐるやうであ
ります。尤も前述の色別は「といふ風に」と
いふ程度でたしかなものではありません。つ
いでにそれ等婦人の服装ですが、それは男の
着るやうな地味でごつ／＼したもので、粗末
な衣類に折角の若さを押しつゝんで黙々と脇
目もふらずに土にまみれ、寒氣と闘つて働い
てゐるさまには頭が下ります。
箱根から西の方で車窓から見るやうに野良
働きの娘さんでも薄化粧をたしり、赤いたす

名産津軽塗は一名「バカ塗」とも稱し下塗から仕上げまで三十八回乃至四十回の塗を重
ねるので色彩の優雅なものと堅牢なものとで珍重されてゐます。弘前及び附近、浪岡、川部
石川、大鰐、碓ヶ關、里石、藤野、板柳、陸奥舞田等はこの地方の林檎の主産地で年産
額千三百萬圓に達します。(青森より一時間の地)

「名勝地」弘前城址、第八師團司令部、物産陳列館、景勝院五重塔婆、岩木山、岩木神社、嶽温泉

「旅館」齊吉、石場、竹前、大室

黒 石：クロイシ町は、もと津軽氏一萬石の支封地で、こゝから八軒の温泉、板留の温泉を
経て十和田湖畔、瀧澤へ行かれます。板留の近くには紅葉の勝地中野公園があります。

「名物」林檎、菓工品 「旅館」岡崎

五所川原：ゴシヨガハラ町は津軽鐵道の接続點で、また津軽平野の中央、岩木川の右岸にあ
る津軽米の大集散地であります。人口一萬餘。(青森より一時間半の地)

小 泊：コトマリ村は津軽鐵道の終點、中里から二七軒の地で自動車の便があります。小泊
は漁港で柔魚、鮑の産で知られて居ります。その西に突出する權現岬は北海の羣島に對
し碧波、浩蕩にして男性的の景觀であります。小泊から津軽の尖端、龍飛岬までは崖壁
を傳ふ難路で主に小泊から小舟又は小蒸氣船によります。

龍 飛：(タツビ)は津軽海峡と日本海との中間に突出する陸地の尖端で、絶えず兩海の荒波に洗はれ、岸
壁峭立して近くの北海道白神岬と相呼應し雄大な岩の景致であります。(青森より三時間半の地)

鯉ヶ澤：アヂガサワ町はもと津軽米の積出港として榮えた所で、水産業が盛んであります。
人口五千餘。(青森より四時間の地)

「名物」鯉餅、浪花せんべい、眞砂羊羹 「旅館」竹谷、新岡

十和田湖：日本八景の一で、湖は千古斧鉞を知らぬ峰巒を周圍に控え、その一灣一岬から一木一石に至る
まで他の追隨を許さぬ雅趣と、それ等の形態や色彩を其のまゝ倒映する漫々と湛えられた濃藍色の清
澄な水とに依り、雄大壯麗な風致をなし、之に加ふるに古岡木方面(東北本線)に奥入瀨の溪流美を
もつて居ります。春は新緑によく、夏は暑熱を知らず、秋は紅葉の大觀があります。湖は青森秋田の

兩縣に跨り、周圍四十六軒に達し交通路は弘前(黒石經由)から毛内(花輪線)から東北線古岡木、
三戸からとあります。

「旅館」世界公園館支店(子ノ口)、世界公園館、太陽、十和田觀光館、一ノ宮十和田館(休屋)、和
井内ホテル(和井内)

室蘭港

ムロランは北海道輪轡半島の腰部にある東海岸第一の要港で人口六萬五千を有
し、最近の輸出入貨物額は一億三千萬圓を超え、その九割七分は内國貿易であ
ります。内國主要輸出品は石炭、紙、鑄器類、銑鐵、銅及鍊鐵、兵器等であります。弊
社の内道連絡航路「青森—室蘭線」の汽船は私設岸壁から毎日午後五時四〇分出帆致し
ます。

「名勝地」測量山、八幡神社、室蘭公園、南部藩陣屋址、輪西ゴルフ場、石炭船積場、祝津貝塚、海草
研究所、地球岬、繪鞆城址、日本製鋼所、天澤泉

「名物」陳煙製、うに煎餅、烏賊の鹽辛

外海勝景：室蘭港を小舟で乗出し、太平洋の銀波躍る海岸一帯は北海稀れに見る海岸美の勝れた處で、大
黒島、銀屏風、金剛濱、地球岬、トツカリシヨ等半日の清遊に適して居ります。

「著名店舗」室蘭運送社、栗林商會、高谷福三郎商店、山本兄弟商會

「料理家」いく代 「旅館」石川旅館、創成館本店、同支店、福井館、大新、大正館

木の間より岬によれる波も見えて
くぐる膽振の郎涼の台 昌子

有 珠：ウスは徳川氏が蝦夷を始めて公領として大いに開拓に努めた所で櫻の名所として知
られて居ります。又有珠灣は風光明媚で北海「江ノ島」の稱があります。(室蘭より一時
間半の地)

「名勝地」善光寺、有珠岳、南部陣屋址、有珠の砦址
東海の小島の磯の白砂に
われ泣きぬれて蟹とたはむる 暁 木

洞爺湖：トウヤコは虻田驛より東北約七軒の所にある周圍三九軒の大湖で中央に中島、觀音



十和田湖

きに尻はし折つて風情に富む姿とは、あまり
に隔りのあるものであります。それに冬でも
小春日が蒼空から射すといふ和かさは夢にも
見られず、長い冬の間灰色の空からは粉雪が
亂舞し、ひゆう／＼と野面を吹きちらす風に
乗つて頬を刺します。 旅より

戀のマリモ

今は阿寒湖の清い水の底に沈む穂藻(マリ
モ)にも、二つの悲しい魂が秘められてゐる
とアイヌの古老は語ります。
それは遠い平和な部落の營みを續けてゐる

島、饅頭島等三大島があります。南に有珠岳が聳え、北に蝦夷富士の雄姿を眺める景勝の地で湖畔には温泉があります。(虻田より洞爺湖電氣鐵道の便があります。室蘭虻田間一時間の地)

「名勝地」洞爺湖温泉、洞爺湖ゴルフ場、壯瞥の瀧、向洞爺、月見丘、浮見堂、義經岩

「旅館」觀光ホテル、温泉ホテル、第一ホテル、萬世館、富士屋、中央館

長萬部：ラシヤマンベ村は室蘭本線の分岐點で靜狩金山の所在地として著名で、また、内浦灣に望み風光よく、禮文華海岸は豪壯な岩礁風景が點滅し單調な暗黒の線路に色彩をつけて居ります。人口一萬二千餘。

「名勝地」南部藩長万部陣屋跡、長万部舊土人部落、靜狩金山、靜狩泥炭形成植物群落、禮文華

登別温泉：ノボリベツ温泉は北海道白眉の温泉で峰層四周の地で、湯元、地獄谷は温泉市街の上方半軒の地にあります。附近一帶の巖石は恰も劍を植えたやうで、劍ヶ峰の下に白煙濛々として熱湯を噴出し、物凄しい景呈を呈します。附近には大湯沼、鹽湯ノ池等あつて山溪に、沼に、湯の湧かない處はありません。泉質は明礬泉、硫黄泉、鹽類泉など種々あつて婦人病、リウマチス、皮膚病、腺病等に効能があります。(室蘭より一時間の地)

「名勝地」湯澤神社、湯澤温泉、勝岡の瀧、地獄谷、大湯沼、日和山、追分山、紅葉谷、登別原始林、四方嶺

「旅館」第一瀧本館、第二瀧本館、湯本ホテル、瀧見館、五色湯、八子
カルルス温泉：登別温泉から西北六軒の處にある青標四周の靜境で紅葉が有名であります。登別の脂粉の氣漲れるのに對してこゝは全くの療養温泉としての價値があります。腦及神経系諸病に卓効があります。俱多羅湖：クツタラ湖は登別温泉から東約四軒の地で湖中には姫鱒を産します。秋は紅葉が湖中に映つて美觀を呈します。

苫小牧：トマコマイ町は王子製紙會社が工場を此處に設けてから急速な發達をした市街で人口二萬二千を有して居ります。王子製紙工場は新聞紙を主とし半平紙、蠶座紙其他を製造し年額十萬圓以上に達します。近來トマックスを發明し建築及家具材として販賣して居ります。(室蘭より二時間の地)

「名勝地」王子製紙工場、苫小牧競馬場、支笏湖、榊前山、千歳鮭鱒孵化場、千歳神社、キウス砦址、丸駒温泉、惠庭岳

支笏湖：シヨツ湖は千歳川の上流にある大湖で周圍四〇軒、湖面は海拔二六〇米、深度は約四九〇米あつて深い爲め冬季結氷しませぬ。湖畔に惠庭、榊前の二山が相對立して景趣を添へてゐます。尙湖畔は避暑に適し湖中には姫鱒、サワカニなどを産します。

榊前山：タルマへ山は支笏湖盆地の南縁にある扁平な複式火山で、近年屢々活動致しました。南麓の裾野は海岸に延び、本地方旅行者に忘れられぬ印象を與へます。尙附近には白老アイヌ部落、仙臺陣屋跡があります。

夕張：北海道に於ける石炭は埋藏量極めて豊富で、分布地域も諸方面に亘つてゐますが中でも石狩炭田に屬する夕張(ユウバリ)は炭質の優良と埋藏の豊富、規模の壯大で知られて居ります。

夕張、新夕張、大夕張、眞谷地、登川の五炭礦あつて一年の出炭量は三百萬噸と稱せられ、町の生産總額の九割四分で純然たる石炭町であります。石狩炭田第一の都會で人口四萬三千を有し、市況活潑であります。尙夕張鐵道錦澤驛附近の紅葉の美觀は著名であります。

平取：ピラトリ村は古くから聞えた部落で、その舊土人部落は古風の存するもの比較的多く人口約百二十を有してゐます。平取はピラトリで二つの崖の間の村の意味であります。

(門別村佐瑠太驛より一三軒の地)

「名勝地」義經神社、二風谷、平取、荷奈、碧雲古津部落

靜内：シツナイ町は日高第二の都邑で、人口一萬余を有し、その一部落、下下方(シモゲホウ)は馬の市場として知られて居ります。尙開市は毎年八月と十月の二回であります。

「名勝地」梁退砦址、梁退川鮭鱒孵化場、新冠宮内省牧場

浦河：ウラカハ町は日高線の終點で人口約一萬二千を有する日高第一の都會であります。この港は十箇年の歳月と百四十萬圓の國幣を費して築設した人口港で、天然の港灣を凌ぐ日高沿岸の良港であります。

頃、シバチといふ酋長があつて、その一人娘はセトナと呼ばれる村一番のピリカメノコ(美人)でありました。幼い頃から下僕の息子であるマニベに愛され、その子に嫁いで、マニベの戦争の噂などを聞き、それに飽きるとマニベの吹く悲しげな笛を聴いて、涙を流して、そのとき、マニベは、勇気のないやくざ者に決つたと聞いて、失望しました。憂鬱な日の續いた或る夜、マニベはセトナを誘つて湖面に獨木舟を浮べ、マニベを迎へる氣かと聞いたとき意外な言葉がセトナの口から傳はり、それは自分には何年も前から想ひ續けた人がある。その夜から若者には主人と自分と、忠と忍従と、理性と情熱との懊惱が續いたのであります。自ら行くべき道をさへ知らない憂鬱に悶えました。

或る月の夜でありました。マニベが湖畔の舟に身をもたせ、断ち切れない絆に煩悶してゐると、アカダモの木立の蔭から男女の相争ふ聲が聞えます。我を忘れて馳けつくとセトナは哀れな姿にまで押し付けられやうとしてゐます。「おのれ、マニベ」と、巨熊をも挫ぐマニベの鐵腕は鳴つて、理不盡な無頼漢は忽ち土に墮れました。忠義の若者は一刻も早く

阿 寒 岳



彼女の歸ることを希みました。然し、セトナはお前に會ひに来たのだと言張つてどうしても歸らうとさせぬ。若者は「私はあなたの召使であることを忘れないで下さい、主人のお嬢さんを騙らかす不忠者ではありませぬ」と拒みました。娘はこの頃自分から逃れやうとする若者の態度を語り何故昔のやうに遊んで呉れないかと恨みました。マニベは彼

「名勝地」 幌別川鮭孵化場、日高種馬牧場、等遊院

釧路：クシロ市は北海道第四の商港で、東部に於ける物資の集散市場とし榮え人口五萬六千を有して居ります。産業は水産業及工業を主とし鱈、鮪等の漁獲、魚油、搾粕、開鱈等の製造、製材及罐詰の製造等が行はれます。輸移出入貨物價額は四千萬圓に上り、その九割六分は内國貿易で内國主要移出品は洋紙、石炭、木材等であります。

「名勝地」 嚴島神社、御供山、茂尻矢岩址、春探湖、舊土人部落、知人岬、春探湖畔岩址、鶴ヶ岱、チヤランヶ岩址、春探臺地窪穴群、東釧路貝塚

「附近名勝地」 大樂毛、塘路湖、雄別炭礦、軍馬補充部川上支部、弟子屈温泉、鑑別温泉、北海道拓殖實習場、阿寒國立公園

「旅館」 近江屋、三島屋、富士屋、輪島屋、山形屋、とらや

「回漕店」 三輪運輸株式會社

「名物」 阿寒鶴の子饅頭、昆布加工品、蟹加工品

しらすと水かがやき千鳥なく

釧路の海の冬の月かな

歌 木

阿寒：釧路市の西北約八〇軒に阿寒湖があります。雌雄兩阿寒の山袖に包まれて横たわつて居ります。

東北地方の屈斜路、摩周の兩湖と硫黄山一帯と共に阿寒國立公園の區域内であります。

北海道の神秘的原始景觀に接するのは、この阿寒地方のみであると云はれてをります。阿寒湖盆地は

一の火山陥没地で中央火山たる雄阿寒は富士形の英姿を現し海拔一、三七一米ある圓錐形の死火山であります。山には樺松が密生してゐますが近年登山路が開け、婦女子も容易に登られます。

雌阿寒は雌山、小雌山、阿寒富士から成つて、海拔一、五〇三米の活火山で山腹は高山植物に富んでをります。山嶺に暗綠色の湯沼(青沼)と暗赤色の湯沼(赤沼又は血の池と云ふ)とがあり、四周に爆發龜裂とがあつて凄愴を極めて居ります。

噴火口は青沼から約三六米程離れ口徑三三〇米あつて常に硫氣を噴出し、その上昇約三〇米に及びます。四顧頗る潤く、群峰脚下に連つて遙かにオホーツク海、太平洋、釧路及び十勝の平原を望み、遠く石狩嶽、大雪山に對し風光雄大であります。

遊覽徑路(これは三湖に亘る大體の經路を示したものであります。)

釧路口：二泊又は三泊の行程

發驛—釧路(又大樂毛)—舌辛—阿寒湖畔—(横斷道路)—摩周湖

—(弟子屈經由)—川湯温泉(含硫黄山)—屈斜路湖—(仁伏、舊土人部落、和琴半島)—美幌峠—美幌—發驛(又は反對徑路)

弟子屈口の一：二泊又は三泊の行程

發驛—弟子屈—摩周湖—川湯温泉—屈斜路湖—美幌峠—(横斷道路)—阿寒湖畔—北見相生—發驛(又は反對徑路)

美幌口の一：一泊又は二泊の行程

發驛—美幌—美幌峠—屈斜路湖—川湯温泉—摩周湖—弟子屈温泉—阿寒湖畔—北見相生—發驛(又は反對徑路)

美幌口の一：二泊又は三泊の行程

發驛—美幌—北見相生—阿寒湖畔—北見相生—美幌—美幌峠—屈斜路湖—川湯温泉—摩周湖—弟子屈—發驛(又は反對徑路)

弟子屈口の一：二泊又は三泊の行程

發驛—弟子屈—摩周湖—弟子屈(横斷道路)—阿寒湖畔—北見相生—美幌—美幌峠—屈斜路湖—川湯温泉—川湯—發驛(又は反對徑路)

以上の外、雌阿寒岳、雄阿寒岳登山のパンケ湖、ペンケ湖等を詳細に遊覽せんとすれば、この行程に更に二日或は三日を追加しなければなりません。



棄てる、親も部落も。そしてお前と二人で生きて行きたい」とさめくと泣きます。マニベも泣きました。それから娘は顔は次第に蒼ざめ憔悴して行き、やがて病床に横はる身となりました。老父母の嘆きと一族の憂ひをよそにマニベの名を呼び続け、日毎に細り行くのであります。

阿寒の山肌が紅の衣に包まれる秋となりました。マニベが薪を伐つての歸り途、不意に横合から斬りつけられました。激しい争闘の後には白髪は何時しかマニベの手につり、其處にはやくざ者のメカニが流血の中に流れてゐました。

人を一人殺した罪の若者は乗り開けた獨木舟を漕いで沖に出て行きます。部落の方からは板木を叩いて追つて来る數隻の舟、若者は久し振りで蘆笛を持ち心行くばかり吹きました。咽ぶやな餘韻は遠く湖面を流れ、て行きます。その時カモイチツツ(神魚姫)がマニベの舟を取り巻いて湖の底深く導いて行きました。

數日の後、マニベの死を知つたセトナは若者の名を呼び續けて湖岸に立ちました。天地も震ふやうな凄愴の夜であります。湖の真中を寄せ細つた腕で唯一人漕いで行く彼女の舟もカモイチツツが取巻いて湖底深く沈んで行きました。

阿寒に誘はれて、湖が碧水を破り飛沫をあげて荒れ狂ふとき、マニベの蘆笛の音に交つてセトナの咽び泣く聲が聞えて來ます。それは一つの秘藻には二つの悲しい戀の魂が生きてゐるからであります。

營業科目

船底塗料

コツバーベイント(木船船底塗料)
 ホールドベイント(船艦内用)
 デツキーベイント(鐵甲板用)
 セク(鐵木材防錆防腐裝飾塗料)
 グラフアイトベイント(鐵鋼材防錆專用塗料)



登錄商標

大東塗料株式會社

本社

大阪營業所

橫濱出張所

神戸出張所

尼崎市長洲字稻川新田四十二番地
 電話 尼崎 二二三七番

大阪市北區宗是町一番地(大阪ビル八三號)
 電話 土佐堀 一八三二番

橫濱市中區相生町六丁目一〇三番地
 電話 長者町 三〇三番

神戸市神戶區營町二丁目四十番地昭和ビル
 電話 三宮 三六八番

松尾鑛業株式會社代理店
 北日本汽船株式會社代理店

八戸港運輸株式會社

電話 七〇四番

山の十和田
 海の鮫

御旅館

御料理

八戸市鮫浦

石田家
 電話 七〇一番

橋本館
 電話 七〇五番

藝奴一同

北日本汽船株式會社荷扱店

青森市新濱町十一番地

海運業
 陸送業
 船舶給水業



青森運輸株式會社

電話 二、七、四〇番
 市外通話用(専用) 三、七、四〇番
 陸送部 三、六、四三番
 振替 一、〇、五〇番
 受信 一、〇、五〇番
 アフモリ、ウンユ

北日本汽船株式會社取扱店

青森局私書函第四號

青森市新濱町三一番地

海運業 全磯野回酒店

大阪商船株式會社臺灣航路取扱店
 國際運輸株式會社青森代理店
 〇〇東京海上火災保險株式會社代理店
 〇〇大倉火災海上保險株式會社代理店
 附帶業務 船内仲仕部、船部、倉庫部、
 保險部、運搬部、陸送部、
 税關貨物取扱人、海事代理人。

電話 一、一、四三番
 市外專用電話 一、七、七番
 受信路號發信 アフモリ
 振替口座水橋 一、五〇番

船舶食料品御用商

七 與 商 店

青森市大町一丁目
電話二五三三番

西洋洗濯布
毛布
クリン
及色揚萬洗濯

舎 小 野 貞 吉

青森市沖前營林局通り

青森市寺町
米穀商
精米業
七 阿保七五郎商店
電話二四六五番
(アホ)(ハア)

北日本汽船株式會社

三 青 森 出 張 所

青森市新安方町八三
電話九六六番

北日本汽船株式會社青森代理店
栗林商船株式會社青森專屬取扱店
三井物産株式會社船部青森代理店
松尾鐵業株式會社青森荷扱所

青森市新安方町二丁目角

回 漕 業 三 青 森 郵 船 合 資 會 社

設立 明治四十一年九月

電話

事務所用一〇番
船務所用四三九番
船車連絡(青森驛構内)
貨物取扱所用(六九五番)

小蒸汽船 貳隻(曳船及乘客用)
船 七十噸級 二十隻
船 百噸級 五隻
通船用 四隻
常置人夫 百人以上

一日ノ荷役能力貳千噸以上如何ニテモ貨主ノ依頼ニ應ズ

海軍糧食品御用
北日本汽船株式會社御用
各船舶食料品賣込商

精肉問屋



合名會社

高 谷 商 店

高 谷 福 三 郎

室蘭市濱町四十六番地
電話八百六十六番



室蘭市海岸町三〇

株式會社 室蘭運送社

代表電話七八〇番

直 轄 店 營 業 所

夕張	鹿ノ谷	新夕張	伊達紋別	長流	東京	日高山	檜山
運送	運送	運送	運送	運送	運送	運送	運送
電話一〇番	電話一八〇番	電話一七四番	電話二番・一二七番	電話伊達三七番	電話九段三三三番	電話九段三三三番	電話今金二七番

室蘭貨物自動車株式會社

代表電話七八〇番



日高國浦河町

株式會社 日高運送社

電話浦河五五番

營 業 所

荻伏	春立
運送	運送
電話三三番	電話四番



日高三石驛前

株式會社 日高三石運送社

電話一三番



日高國浦河町

日高貨物自動車株式會社

電話五五番

膽振國伊達町

膽振貨物自動車株式會社

電話一六七番

室蘭市海岸町三〇